

## 平成29年度 子育てコミュニティーク 参加者数結果

開催日	参加	会場	人数
9月22日（金）	厚木小学校、厚木第二小学校、相川小学校、戸田小学校、愛甲小学校、戸室小学校、緑ヶ丘小学校、南毛利小学校（計8校）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	8
10月4日（水）	玉川小学校、毛利台小学校、森の里小学校、小鮎小学校、飯山小学校、荻野小学校、鳶尾小学校、上荻野小学校（計8校）	市民交流プラザ ミュージックルーム1	9
10月7日（土）	玉川保育所、岡田保育園、湘南カトリア保育園、本厚木さくらんぼ保育園、みどり保育園、みらくる保育園（計6園）	市民交流プラザ ルーム606・607	6
10月16日（月）	厚木中学校、玉川中学校、南毛利中学校、東名中学校、林中学校、森の里中学校、相川中学校（計7校）	市民交流プラザ ミュージックルーム1	7
10月31日（火）	清水小学校、妻田小学校、北小学校、上依知小学校、依知小学校、依知南小学校、三田小学校（計7校）	依知南公民館 集会室	7
11月18日（土）	厚木保育所、依知保育園、荻野すみれ愛児園、おひさまっこ保育園、キンダーガーデンこぼと、けいわ星の子保育園、本厚木ふたば保育園、YMCAあつぎ保育園ホサナ（計8園）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	8
11月22日（水）	厚木幼稚園、ちぐさ幼稚園、ぬるみず幼稚園、光ヶ丘幼稚園幼稚園、毛利台幼稚園、七沢幼稚園、森の里幼稚園、えいすう幼稚園、清和幼稚園（計9園）	南毛利公民館 集会室	9
合計			54

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(1)小学校

日時 9 月 22 日 (金) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 2

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

厚木市には「こども育成条例」があり、「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。青少年健全育成会、子ども会、高齢者の方々など、様々な方が子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われていいます。そこで、皆様は地域の一員としてどのように地域と関わっていけば良いのか、意見をお伺いしたく本テーマを設定しました。

聴きたいポイントは 2 つです。1 つ目は親子で地域行事や子ども会などに参加されているかどうか、また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

聴きたいことの 2 つ目として、どのようになれば、どのような仕組みなら参加しやすくなると思いますか。

学童期の子どもたちは、これまでの幼稚園・保育所などから、より広い社会に出ていくこととなります。この時期に、自宅と学校との行き来だけではなく、地域の行事などに参加することによって、様々な世代と関わり、社会に関心を持つことがその成長に有効であると言われています。

是非、子ども会や地域行事などに参加していただければと思うのですが、参加が少ない学校・地域があるので、お聴きしたいと考えました。

●子ども会には入っていません。子ども会の方から勧誘が来ると思っていたのですが、私の住む地域は積極的な活動がなく、また、役員になりたくない親が多いため積極的な募集也没有ありません。そういう理由があるのであれば、特段参加したいという気持ちもなかったのもそのままになっています。

#### ●こども未来部長

御自身が子どもの頃は入っていられたのか。

●昔は子ども会に自動的に入っていました。楽しかったという記憶もあったので、子どもを入れても良いかなと思っていたのですが、入り方も分からず、近所の方の話を聴くと入っていない方が多かったです。

●子ども会には入っていません。小学校入学と同時に手紙が来ましたが、当時、習い事をしていただけで参加できないと考えていました。その後、習い事を一旦辞めたので、入ろうかと考えていたところに、子ども会役員の方から誘いが来ました。子ども会の人数も少なく入ってほしいと言われましたが、入ったら役員をやることになるとも言われていたので、自分の仕事と、学校の役員もやっていて、どうなるかと思い入っていません。

●昨年から入っています。上の子どもは小学1年生のときに入っていましたが、退会しました。下の子どもも最初は入ろうか悩んでいたのですが、子どもから地域のソフトボールクラブに入りたいと言われました。ソフトボールクラブに入るためには、子ども会に入らなければならないので入りました。子ども会の役員もやっており、学校の役員もやっています。皆さんが入らない理由は、役員の仕事が多いためかと思います。役員だけが毎週土曜日、日曜日に集まり、また自治会、育成会に関わることも多く、結構な頻度で親が活動をするようになってしまいます。仕事もしていることから、とても大変です。私の住んでいる地区は育成会が盛んで役割もたくさんあり、子ども会の活動がおろそかになっています。何の活動をしているのか分からなくなります。子どもからも楽しくない、という意見があることをたくさん聴いており、子どもたちの声に応えられていません。役員が回ってくる頻度も早いです。

●こども未来部長

役員が大変だということは耳にしていますが、当事者のお子さんはソフトボールクラブに入っているのでしょうか。

●ソフトボールは楽しいと言っています。ただ、子ども会としての活動はしていません。親が役員で忙しいため、小学校高学年で最後の試合を見に行けなくて寂しいです。

●こども未来部長

昨年度の子育てコミュニティトークでも、子ども会に限らず、役割が多い、ほかの役員と兼務しているというご意見が出ていたので、子ども会や育成会にこの問題を投げ掛けました。子ども会では改革委員会を作っていただきましたので、今日のお話もお伝えします。

●子ども会が盛んな地区に入っています。規模的には70人以上いる子ども会です。地域で太鼓をやっており、夏祭りに2回出るため、それに向けて5月から毎週土曜日に練習をしています。太鼓が叩きたくて、子どもが集まります。夫もそうですが、小さい頃からやっているお父さんが今度は子どもに教える側になります。親も積極的に参加しているので、子どもも積極的に参加するようになっています。

●こども未来部長

著名な発達心理学者のエリクソンの理論で、子どもを産み育てていく世代について、親として過ごすことだけでなく、自分が所属する社会の後輩を育てたり、地域の文化を伝承したりするなど自分以外の事に関わる時期でもある、と分析しています。今のお話がまさにこの例ではないかと思います。自分が教えてもらった良い文化が継承され、自分も子どもも成長できるということです。すてきなお話だと思います。

●子ども会には入っていません。今はバスケットクラブがメインです。地域でお祭りなどがある場合は、積極的に参加しています。ただ、自分の住んでいるところに子ども会がないので、隣の地区に入ることとなります。家から離れてしまうこともあり、入っていない状況です。子どもは友達と一緒に児童館に行っています。イベントなどには積極的に関わっていこうとしています。

●地区が二つに分かれていて、隣の地区には子ども会がありますが、住んでいるところにはありません。隣の地区には入れません。子どもが土曜日、日曜日とサッカーをしています。そちらの役員があるため、もし子ども会があったとしても入会できないのが現状です。

●住んでいる地区に子ども会がありません。上の子が小学生のときには、下の子も一緒に地域の行事に参加していましたが、子どもが大きくなるにつれて行かなくなりました。下の子どもは、

児童館の行事には参加しています。自分が子どものときには子ども会に入っていました。

●子ども会があること自体を知らなかったです。知ったときには上の子も大きくなっており、役員も大変そうで、敷居が高く感じてしまいこのままになっています。お祭りなどには参加しています。

●こども未来部長

やはり、子ども会に入らないのは、役員が大変、子どもの数が少ない、習い事で忙しいなど大きく3つの理由があると思います。子ども会では、改革委員会を作り、役員になった方の負担軽減を考えたり、地域の育成会や自治会において子ども会の役員を担ってもらうことも考えていただいています。私たちは、子どもたちが地域の行事に参加し、地域の大人たちと交流をすることで成長していくことが大事だという思いです。

子ども会に入らなくても、地域の行事に参加してもらうだけで、地域の人たちにどんな子どもがいるのか、どんな保護者がいるのか知ってもらえ、何かあったときに助け合える機会になると思います。

次に、どのような仕組みなら参加できますか。お子さんが大きくなり手が離れたとき、地域行事に参加してみたい、手伝ってみたい、というお気持ちはありますか。地域とどのように関わっていきたいと考えていられますか。

●大人が盛り上がる地域です。運動会も選手は練習だ！と盛り上がります。私自身は昨年、今年と幼稚園の運動会が重なって出られませんでした。以前は運動会の競争に出ていました。地域の行事に子ども会が参加しています。子ども会卒業後の保護者も、子どもがいなくても運動会を盛り上げてくれています。私も子どもが卒業しても、参加していくのかなと思います。高校生やその親御さんも一緒にリレーに参加してくれています。

●こども未来部長

通われている学校は、子ども会加入率が厚木市の中でも高いです。

●子ども会の入り方については、入学前に地域の新1年生のリストが来るので、それを役員で手分けして、一人ずつ訪問し声掛けをしています。それで加入率が高くなっていると思います。

●就農したことにより、自分が家にいない生活から急に子どもが近くにいる環境になったので、できるだけ近づこうと思い、PTAや子どもの見守り等をしています。自分から動きたい、地域に積極的に参加したいと思っており、どんどん出ていっています。お休みのお父さんも、もう少し声を掛け合って出てきてもらえれば良いなと思います。

●市長

そういう姿勢になること、仲間は大切です。本音は入ってみたいと考えている人もいるのでしょうけれど、役員が大変で踏み込めていないのだと思います。ただ、大変な人もいないと成り立ちません。皆さんの話を聴いて、地域性があるなと思いました。地区によってしっかり大人がサポートしている姿勢があります。子ども会など、参加する前にいろいろと考えて身を引いてしまっていることが多いようですが、それを越えることが必要だと思います。そこが一つの分岐点となります。子ども会加入率は減ってきています。将来的にどうなるのか。自分が子ども会に入っていたときは楽しかったということを思い出してほしいです。

●こども未来部長

役員を積極的にやりたい人は少ないかとは思いますが。ただ、先ほどもお話ししたように、子ど

も会では資料作りの簡易化やマニュアル作りなどをして、役員の負担を減らすようにしています。自治会長も地域に子どもの声が集まって、にぎやかにしてくれると本当に楽しいとおっしゃっていました。

子ども会が全てではないと考えますが、地域や様々な世代との交流は、見えないところで子どもの成長に大きな影響があるということを経験してもらいたいと思います。

#### ●教育長

大人がサポートし、一緒に活動するという意識が、社会全体に広がればと思います。子どもがいるとかいないとか、そういったものではなく、子どもが成長した後、自分に余裕ができたとき、できる範囲で関わる。地域に住む子どもに時間を割ける感覚、気持ちをたくさんの人に持っていただけならば、無理なくやっていけると思います。

#### ●こども未来部長

基本は無理のない範囲で参加してもらえればと思います。

地域の役員さんも皆さんが参加してくれるだけでうれしいと感じられていると思います。地域とのつながりがあると良いと思います。

子どもが夜一人で歩いていたとき、地域のおじさんに怒られたという話を聴きました。おせっかいなのかもしれませんが、こういった声掛けは防犯面でも心強いかと思います。

他に御意見はありませんか。

●学校行事の際、皆がいるときに子ども会についての説明会があれば、聞き漏れないかなと思います。

#### ●こども未来部長

入学説明会のときに子ども会の入会について周知をしていますが、当日はたくさんの情報をお伝えするため分からなくなってしまうのかと思います。別の機会が良いということですね。

本日の御意見は、改革委員会にも意見をお伝えしていきます。市長、教育長を始め、団体の方も私たちも、地域全体で子どもを育てるという熱い思いがありますので、できる範囲で参加してもらえればと思います。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

#### ●学校教育部長

子どもを守るという大きいテーマになっていますが、携帯電話、スマートフォンに関わる話をしていきたいと思います。まずは小学生のお子さんに限定してお聴きしたいと思います。現在、すでに携帯電話、またはスマートフォンを持たせている御家庭はありますか。

●小学校高学年です。習い事の連絡手段として持たせました。

●小学校中学年です。同じく習い事で。

#### ●学校教育部長

昨年同様のテーマで話をしていましたが、一番早くて小学校入学ぐらいから、キッズ携帯を持たせている方がおり、防犯上、連絡を取る手段として有効だとお話を伺いました。御家庭の中で決めたことなので良いと思いますが、やがて携帯電話やスマートフォンに切り替える時期が来

ます。いつかは親として、子どもに機器を持たせることを考えなくてはならない、という感想がありました。

現在、子どもに機器を持たせていない御家庭で、スマートフォンを何歳くらいから持たせるイメージがありますか。

●今、子どもは小学校高学年ですが、中学校に入学する前の2、3月までに持たせてあげると話しています。部活動の連絡がスマートフォンの無料通話アプリだと聞いているので。

●学校教育部長

その話はよく聞きます。部活の予定の連絡が無料通話アプリだと。

●中学1年生で持たせました。

●学校教育部長

最近はそれくらいなのですかね。私の娘は高校に入った際に持たせました。去年の意見交換では、もっとギリギリまで持たせないように粘りたいという保護者もいました。なかなか、持たせないで済みますという時代ではないと思うのですが、持たせたことによりトラブルなどがあつた、という話を聞いたこともあると思います。例えばSNSトラブルなどを始め、ネット依存が一部で問題になり始めています。

まだ機器を持たせていない方、持たせるに当たってどのような不安がありますか。

●持たせる必要がないと思っているので、不安というよりは不必要と感じています。

●学校教育部長

できるだけ持たせない、という考えでしょうか。

●ルールがきちんと守れるか。上の子どもは携帯電話を持たせましたが、日頃からルールを守れているので持たせました。真ん中の子どもは興味本位で持ちたいと言っている感じなので不必要と考えています。

●学校教育部長

家庭内での約束事がきちんと成立しているということですね。他の方、持たせるときに不安なことはありますか。

●私の携帯電話を使わせています。そのため、子どもの友達の無料通話アプリの内容が確認できており、今は安心しています。機器を持っている子どもたちでグループを作っていて、私の名前で登録している状況です。ただ、朝からしきりにメッセージが入ってきていて、学校の支度とかどうしているのかと疑問に思います。一日で100件ほどメッセージが入っているときもあります。今は着信の音を消していますが、初めは子どもが着信音を聞いて、食事をしていても気になってしまっている様子でした。持たせたら多分、ずっとやっているのではないのかという不安があります。

●学校教育部長

必然性があるって機器を持たせることは仕方がないことかと思います。ただ、それによって他の時間がとられてしまうというイメージもあります。機器をいじっている時間を他のこと、家の手伝いや、勉強の時間などにしてくれたらと思います。

●子どもはゲーム自体を持っていません。インターネットとの接続と関わりなく生きてきています。自分に知識がないため、そのような状況で子どもに機器を与えて、トラブルがあったとき、助言ができないと感じています。いつ渡すかは自分次第かと。今は子どももインターネット通信

をしたいと言わないので良いのですが、自分にも勉強が必要だと思っています。

●こども未来部長

自分は持っていないが、周りが持ってしまって、持たざるを得なくなったというお話もよく聞きます。現在、学校では携帯電話教室を開催しています。

●学校教育部長

皆さんは携帯電話教室を学校で開催していることは御存知ですか。全ての小中学校で取り入れています。携帯電話会社が社会貢献事業の一環として講師を派遣してくれます。また、厚木警察署のスクールサポーターが、携帯電話教室を実施してくれています。教育委員会からもお願いして、今は低年齢、低学年でも実施できる学校はできるだけ取り入れています。ただ、小学1年生に高学年と同じ内容で教室をしても話が入っていかないので、講師は内容を工夫しており、保護者と一緒に実施するというようなこともしています。保護者に勉強する機会を提供することも、教育委員会の一つの仕事と考えています。

●教育長

学校教育、家庭教育としても携帯電話教室を取り入れています。学校の教員も全員が同じレベルで機器のことを理解している訳ではないと思うので、教員自身も校内研修などで勉強をしています。子どもと同時に保護者の皆さんを対象とした教室も開催していかなければならないと考えています。

●社会教育部長

資料として「ケータイ・スマホとのかかわり方」をお配りしています。学校からも配布しており御自宅にあるかと思いますが、保護者の皆様に御理解いただき、子どもと話し合っていただければと思います。

●学校教育部長

子どもの知識が先行していき、保護者が置いてきぼりになるため、どのようなトラブルが生じるか予想ができず、子どもとどのような約束をすれば良いのか、安全に使うことができるかも分からなくなっている時代になっています。学校やPTAでも、知識を追いつかせるための取組を提供することが大事だと感じています。また、御家庭の中で約束事を作っていくことが大事かと思っています。

●日頃の生活の中で、決め事を守れているか確認しています。夜遅くにメールを送らない、傷つけることを言わないなど。日頃のルールでもあります。中学校の講座など、私も参加していますが、子どもは分かっている、私たちの方がよっぽど知らないのかなと感じています。

●学校教育部長

お子さんをきちんと見ていることができているのだと思います。日頃からコミュニケーションをとり、子どもを理解することは、課題をクリアするためのポイントです。

自分の携帯電話を貸して使わせることも良い手段かと思っています。それぞれ御家庭の状況によって取り入れていただければと思います。保護者に情報提供していく工夫が必要であると、改めて思いました。

「皆持っているから」が、子どもの決まり文句ですが、突き詰めると持っているのは少数の時があります。ただ、大人側の理屈を突きつけて諦めさせるのではなく、子ども自身から約束を取り付けさせるようにする方法も一つの手段かと思っています。

様々な状況によると思いますが、携帯電話教室のほとんどの講師が口を揃えて、「携帯電話に係る時間が、他に回せば良いな」と考えているそうです。社会性が失われていくことが一番ダメージが大きいと話しています。明日、学校で話せばよい用事を携帯電話で済ませてしまう、人と顔を合わせて会話をする時間が少なくなる、そういったことを子どもにアドバイスすることで、コミュニケーションを重ねることも大事かと思います。

●こども未来部長

今年度の青少年問題協議会という審議会では、携帯電話、スマートフォンの問題について研究しました。重大な事件が機器を通して起きています。全国の事例では、写真をインターネットに公開したことによって、死に至る事件が起きてしまったということや、ウェブサイトの脇に出てくる広告をタッチしたことでアダルトサイトにつながってしまい、課金されてしまったなど。上手く使えば便利で良いものですが、怖いことも多くあります。私たちも勉強し、子どもに与える際には、様々なリスクを承知した上で、話し合い、上手に使ってもらえればと思います。

●教育長

ほとんどの学校で携帯電話教室を実施していると話しましたが、学校によっては保護者へ教室実施の報告を知らせているかと思います。子どもが帰ってきたときに、どんな教室だったのか、一緒に話をしてもらうことも大事かと思います。大人も関心を持っていることを伝えること。こういった話も学校が発信しきれていないことがありますので、学校にも伝えていこうと思います。

●役員の皆と話をしたときに、中学校に行っても機器を持たせたくないという保護者がほとんどでした。実際は部活の連絡が無料通話アプリで行われている、と話を聞きました。持たせてなかったために集合場所を間違ったということがあったらしいです。無料通話アプリとは別に連絡網があるのですが機能していないらしいです。学校側として、連絡事項は連絡網で回すように取り組んでいってほしいと思います。

●学校教育部長

機器を持っていないことが前提だと、学校に伝えていきます。

●自分としては、積極的に使わせた方が良く考えています。タブレット等、親のものを使わせています。中学生の子どももリビングで使用しており、確認しています。SNS等で個人名を出す子には注意する等もしています。課金するような場面の状況にはしないように制限する等、分からないことがあれば確認するように話しています。

●学校教育部長

積極的に使い方を指南し、分からないことがあれば相談しながらやっていくことも良い方法だと思います。ありがとうございました。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**



## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(2)小学校

日時 10 月 4 日 (水) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 1

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

厚木市では県内で初めて「こども育成条例」を策定しました。この条例は「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、高齢者の方々が、例えば黄色いベストを着て登下校を見守ってくれるなど、様々な方法で子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われています。そこで、皆様は地域の一員としてどのように地域と関わっていけば良いのか、意見をお伺いしたく本テーマを設定しました。

聴きたいポイントは 2 つです。1 つ目は親子で地域行事や子ども会などに参加されているかどうか、また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

2 つ目として、どのような仕組みであれば、参加しやすくなると思いますか。

学童期の子どもたちは、これまでの幼稚園・保育所などから、より広い社会に出ていくこととなります。この時期に、自宅と学校との行き来だけではなく、地域の行事などに参加することによって、様々な世代と関わり、社会に関心を持つことがその成長に有効であると言われています。

是非、子ども会や地域行事などに参加していただければと思うのですが、参加が少ない学校・地域があるので、お聴きしたいと考えました。

●親子で参加する行事については、どちらかというと参加している方だと思います。幼稚園のときは情報がなく、参加する機会もなかったです。小学校に入学してからは学校からの便りや、地区の回覧板、児童館等で情報をいただき、行事に参加しています。高齢者が多いのですが、顔見知りの方ができ、近所のことを知ることができて、コミュニケーションがとれるようになります。子どもを知ってもらうことでも、親として安心できますし、メリットを感じています。子ども会にも入っており、習い事もないため、ほぼ参加しています。私は P T A の役員をやっています。地域で子どもも少ないため、子ども会の役員は順番となっており、6 年生になったら務めることになります。

●子ども会には参加していません。学校の周りで子ども会がなくなってきました。子ども会がない環境で、参加したくてもできない方もいます。また、仕事をしている人が多く、自治会の行事には参加していますが、子ども会は役員の負担も大変なため、子ども会があったときも入らない、という人もいました。自治会の行事や児童館まつりなどは子どもも行きたがりますし、地域の人たちと交流ができるので積極的に参加しています。

●子ども会がしっかりしていて、ほとんどの方が入っている様です。役員をやると月に 1 回は

地域内で合同の会議があり、また、行事があると役割があるため、それをやりたくないという方も数人おり、子ども会に入らない方もいます。役員をやっている方々は顔見知りで、大変だということなので、ボランティアを募ります。一度役員を経験している方たちは大変さが分かるので、協力してくれます。回覧板でボランティアの募集をします。

●子ども会には入っていません。役員の仕事が多いと聞いています。また、自分たちが子どものときはドッジボールなどのスポーツをやっていたのですが、今はそういったことがなく、人数が少ないためにドッジボールがなくなったと聞いています。それだと子ども会に入って何をするのか、土・日曜日とみんなで公園に行ったり、行事をしたりという話だったのですが、それだったら父親も休みの時に家族一緒に出掛ければ良いのではと考えています。

●こども未来部長

お子さんは行事に参加したいと話をしていますか。

●地区の運動会などはなるべく参加させるようにしています。

●地区に2つしか子ども会がありません。知り合いがいらないため、入っていません。子ども会が何をしているのか分かりません。ただ、地区のお祭りは自由参加なので、そういった行事には親子で参加しています。

●小学校入学の際、子ども会に入ろうと考えていました。児童館に知り合いがおり、子ども会のことをいろいろ聞いていたのですが、小学校低学年は親が同伴でないと参加できない行事もあると教わりました。夫は土・日曜日が休みではないため、下の子を連れていくのは無理だと思い、もう少し大きくなったら参加できるかなと考えています。地区のお祭りに太鼓がありますが、子ども会に入らなくても良いため、参加しています。

●こども未来部長

太鼓の練習など、いろいろな人が教えてくれますよね。

●教えてくれます。ただ、世帯が少ないため役員は何かしらしなければなりません。子ども会の会長もやることになります。

●住んでいるところは子どもの人数が多く、自治会に子ども部があります。自動的に子ども部に入ることになっています。季節ごとに行事もありますが、子どもは少年野球をしているため、子ども部には入っていますが行事には参加できていない状態です。

●こども未来部長

子ども会に参加できない理由は、スポーツや習い事のためが全体の3分の1ほどでした。子どもが行事に参加したいという気持ちがあっても、それ以外の理由で参加できないとしたら残念だと思いますので、親の負担を少なくし、子どもだけでも参加していただければと考えています。

●子ども会には入っていません。周りの人も入っていないため、何をしているのか分かりません。自分が子どものときには入っていました。

●こども未来部長

子どものときは楽しかったですか。

●楽しかったです。友達も一緒に入っていました。

●地元で育って、当たり前のように地域、子ども会、児童館などの行事に参加しています。安い料金でイベントに参加できてありがたいです。自分がやってきたので、子どももやるのが当たり前だと思っていたのですが、周りがあまり入っていないので、子どもの交流が難しいと感じるこ

とがあります。夏祭りは子どもも参加して楽しかったのではないかと思います。回覧板でボランティアの募集がありました。それにも参加しました。

#### ●こども未来部長

子ども会に入らなくてはならないということではありませんが、地域の一員としてどう関わっていくのが大事だと思います。

発達心理学者のエリクソンという方がいます。アメリカで最も影響のあった精神分析医と言われており、人のライフサイクルを年代ごとに分析したものです。

エリクソンの理論では、学童期の児童は学校でたくさんの知識や技術を習得し、社会に自発的に関わろうとしている時期となります。この時期に行動を認められることが将来に良い影響をもたらすと言っています。

自分の子どもに対し、こんなこともできない、と考えてしまう方がいると思いますが、ほかの社会で違う大人、違う価値観を持つ人に褒められる体験というものは、その成長にプラスになっていきます。子どもたちにはそういった経験をしてもらいたいと考えています。

また、エリクソンは、子どもを産み育てていく世代について、親として過ごすことだけではなく、所属する社会の後輩と関わるのが大事だと言っており、自分以外の何かと関わり、そこから自分一人では得難いものを得られるようになる、と指摘しています。この時期の関わり合いにおいてうまくいかないと、自分が第一という感情が抜けなく、人間関係が停滞、疎遠となりがちになる、とあります。

地域の行事に関わることで楽しかった、仕事をして成長したという経験が良いと考えています。

地域では自治会長も、子どもたちを地域の行事に参加させたいという考えの方が大勢いらっしゃいます。自治会内にこども部があるという話も聴きましたが、自治会でそういった役割を果たそうとしてくれているところもあります。

次に、地域との関わり方についてお聴きしたいと思います。地域の関わりで、良かったこと、悪かったこともあると思うのですが、どうでしょうか。

●結婚してから厚木市に来ました。仕事が休みの日に草むしりをしていると、近所の人が声を掛けてくれて、でもどこの人か分からない状態でした。仕事を辞め、パート勤めとなり、幼稚園にも行くようになって、地域の行事に誘われ参加するようになると、役割が振られるようになりました。初めは嫌だったのですが、地域のことを知れるようになり、知り合いも増え楽しくなりました。地域で声をかけることが上手な人がいます。

●自治会に入った際、子ども部に自動的に入るという地域があることを初めて聞きました。自治会は自治会、子ども会は子ども会、太鼓は太鼓と、全部分かれています。誘われたらその場に行くという感じになっています。

●自治会に入ることが決まりですが、入らない人もいます。子ども部の話、班長の役割の説明もあります。入る際に何をするかという案内が回ってくる感じです。

#### ●市長

自治会の中に子ども会の予算が入っており、支援体制ができていると思います。自治会が子ども会を支援していこうという考えは一緒だと思います。私もお祭りが好きで、ほとんどの地域に参加しており、様子は知っています。それぞれの団体は、実際はつながっています。つながっているということを感じてもらいたいと思います。

●ジュニアリーダーについて、子ども会活動が少なくなると活動の場が少なくなります。昔は、ジュニアリーダーに会う機会が多く懂れました。活動の機会が少ないのがもったいないなと思います。子どもがジュニアリーダーに入っていました、会う機会がありませんでした。

●こども未来部長

やはり、ジュニアリーダーが地域行事等で活躍する姿を見て、ジュニアリーダーに入りたいと思う子どもが多いです。大人から様々な指示や指導があり、また、自身で考え行動することで、多くのことを学びます。その中で、ほかの子どもたちとの接し方も教わります。公民館まつりなどでも活躍しています。毎週土・日曜日を全部使うことはありませんので、子どもが地域と関わること、地域で子どもを見守っていただくことも大事だなと思います。

●家族が負担と感ぜない程度で、参加できる集まりがあれば参加したいと思います。学校からは子ども会の活動が知れるサイト、紙の案内などがあると良いのでは、という意見がありました。

●こども未来部長

役員が大変という話をお聴きしますので、子ども会の改革委員会では、運営マニュアルの作成、資料作りの簡易化などの見直しをさせていただいています。前回の子育てコミュニティトークの際に、小学校入学の際に子ども会の説明をしているが、学校生活に慣れた違う頃にやってほしいというご意見がありました。今回の御意見もいただき、子ども会やジュニアリーダーの活動の周知についてもお伝えしていきます。いろいろと参考になりました。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

携帯電話、スマートフォンの使い方に絞って、話をお伺いしたいと思います。

もうすでにお子さんが携帯電話を持っている御家庭はありますか。キッズ携帯を持たせている御家庭は、防犯上持たせているようです。昨年の子育てコミュニティトークの際、キッズ携帯は便利で、セキュリティも高いということを教わりました。携帯電話、スマートフォンを持たせている方もいらっしゃるようです。

いつ機器を持たせるべきか考える時期が来ていると思いますが、報道など様々なところで情報が入ってきておりトラブルなどが不安だなと感じられている方もいらっしゃるかと思います。

現在、機器を持たせている方は、いつ頃に持たせましたか。

●小学生のときにキッズ携帯を持たせました。親としてはスマートフォン、携帯電話は高校生になってからと思っていたが、中学校に入ると周りが持ち出しました。無料通話アプリでクラスや部活のグループを作っています。持っていないと仲間に入れなくなる、最悪、いじめに発展するのではという不安もあり仕方なく持たせました。

●市長室長

親の情報交換も、無料通話アプリですか。

●そうです。

●学校教育部長

私の子どもに、今日友達とどこに遊びに行くのかと質問したとき、分からないと言われたこと

があります。友達とどこに遊びに行くのか、携帯電話があればぎりぎりまで決めていなくてもよくなっています。便利だと思いますが、心配だとも思うこともあるかと思います。

イメージとして、いつ頃から機器を持たせたいと考えていられますか。

●中学生からです。本当は高校生だと思っていましたが、現実は無理だと思います。小学校高学年でも持っていることが当たり前になってきています。

●学校教育部長

私の娘の際は高校に入ったら考えよう、という時代でした。今はそれも中学校入学の辺りになってきているようですね。

●小学校高学年で無料通話アプリのグループを作っている子が、もめ事の真ん中にいます。

●学校教育部長

神奈川県に行った調査では、中学生の携帯電話またはスマートフォンの所持率が、80%となっています。厚木市に限っては、中学校で74%です。イメージとしては多いと感じています。小さい頃は親の必要感からキッズ携帯を持たせましたが、やがてそれを携帯電話、スマートフォンに切り替える時期が来ます。中学校くらいが平均的になっていると感じています。そこで、機器を持たせる際、親として約束事を考えていられる方はいますか。

●中学生になると部活で携帯電話を持たせないといけない状況になります。上の子どもも中学生で持たせました。連絡網がなく、子どもが入った部活で親同士のメール交換から始まり、子どもは無料通話アプリでグループを作ります。子どもに機器を持たせない、成り立たなくなります。無料通話アプリでの悪口、ツイッター、SNSの扱いが不安です。状況的に学校が子どもに機器を持たせないといけないようにしてしまっているように感じています。個人情報の漏えいを理由に、連絡網を排除しているというイメージがあります。

●学校教育部長

昨年と同じ意見がありました。機器を持っていない子どもが基本だと、市内の校長が集まる機会に説明をしました。クラスでも部活でも連絡網があるはずなのでそれを使ってくださいとお願いをしたため、今では紙で配られた連絡網を使っていると思っていたのですが、責任をもって整理しないといけません。私も中学校の教員を長くやっていましたが、部活の連絡手段について、携帯電話が第一の手段とならないよう気を付けていました。持っていない子どもへの配慮が頭にありました。学校に話をしていきます。

不安になることの情報として、トラブルに巻き込まれるなどの話を聞いたことがあるかと思います。受信側として、また中学生になると発信する立場にもなり、両方からのトラブルが多くなるようです。

そこで、全ての中学校で携帯電話教室を行っており、ここ3年くらい、小学校では隔年実施というところもありますが、全ての学校で携帯電話教室を行うようになりました。携帯電話を扱っている会社からの講師派遣や厚木警察署のスクールサポーターが学校に来て、教室を実施しています。

最近の特徴としては、小学校高学年を対象に実施することが多かったのですが、早めに実施した方が良いのではということで低学年でも実施するようになりました。ただ、小学校低学年に高学年と同じ話をしても難しいということもあり、PTAが学校と企画し、保護者を対象に実施するようにもなりました。

子どもたちは機器を使い始めると、親よりもすごいスピードで使いこなしていきます。どんな危険があるのか、保護者としても勉強をする必要があることから、実態にあった携帯電話教室を展開しているところです。

●携帯電話、スマートフォンだけではないと思いますが、ゲーム機でもネットワークでつながっていきます。小学校3年生の子どもが、全く知らない人と情報を交換しかけたことがあるそうです。低学年でSNSの利用もできます。親としては思いがけないことだったようです。

●こども未来部長

青少年問題協議会という会議での研修で、ネットいじめの問題を取り上げました。お店で中古のゲーム機を購入し、小学生がネットにつなげてしまう。機器はお年玉で購入できてしまう金額ということで、小学生はゲーム機でネットをつなげてしまうことが怖いと講師も話していました。

●学校教育部長

こういったケースもあるので、保護者対象とした安全教室の実施を、学校、PTAで拡大していくことが良いと感じています。学校でできることとは別に、御家庭で指導をしてほしいということもあります。機器を買い与えるときに約束を取り付ける、という保護者が多いようです。ただ、親が一方的にではなく、子どもと一緒に約束事を決めていくということが効果的であると思っています。

引き続き、保護者も子どももお互いに勉強が必要だと思いますが、最後は、家庭内での親と子とのコミュニケーションが危険回避のポイントになることをお伝えしたいと思います。

●教育長

教員も機器の取扱についての知識が、子どもに追いついていないことがあると思います。教員に対しての研修もやっていく必要があると強く感じました。何らかの形で検討しながら実施していきたいと思います。

●小学校の授業でタブレットが導入され、子どもも楽しんでいます。ただ、子どもとしては、学校で使っている感覚で、家でも同じように使用してしまいます。学校で使い出すと興味を持ち始めるきっかけになると思います。学校は教育用にとっているのですが、子どもとしては大差がない感覚でいるのでは、という思いもあります。こういった時期に取り入れることも一つの手段と思いますが、教育面が進化している一方、少し不安に感じました。

●学校教育部長

情報リテラシーという、情報機器を扱う際のマナーを学びます。また、小学校中高学年の授業や中学校になると技術科の授業で扱いますが、御意見について意識していこうと思います。ありがとうございました。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(3)保育園 (所)

日時 10 月 7 日 (土) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザルーム 606・607

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「こども育成条例」を策定しました。この条例は「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会、高齢者の方々、たくさんの方が子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われてしています。

エリクソン精神分析医の理論では、乳幼児の前期、後期、就学前の子について、御両親からの愛情を受けてだんだん自立していきますが、親との接点だけではなく、違うところからの刺激が成長に大きな影響があると言われてしています。

外の世界と接することも大事であると思い、皆様はどう考えていらっしゃるのかお聴きしたく、このテーマを設定しました。

聴きたいポイントとして、親子で地域行事や子ども会などに参加されているかどうか、また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

●上の子が小さい頃から厚木市に住んでいて、お祭りや夏休み中の行事も学校から便りをもらってくるので、参加するようにしていました。上の子のときはいろいろ参加していましたが、下の子になるにつれて忙しくなり、参加が少なくなってきました。上の子のときに楽しかったものは下の子にも経験させたいと思い、参加させようとしています。お祭りの準備などには参加するようにしています。

#### ●こども未来部長

地域の方と話す機会があるんですね。

●準備のときなどに関わるようにしています。

●他市に住んでいますが、地域の行事に参加したことはほとんどありません。情報が少ないです。私たちの重要度も低く、習い事を優先するため、後回しです。自分自身、自治会の役員をやっており、役員としての参加はありますが、防災訓練など役員以外の人に参加してくれている様子を見ると、こういうの良いな、と感じています。

●一軒家に住んでからは自治会のお祭りに参加するなど、周りの人たちから声を掛けられるようになりました。近所の人も子どものことを気にかけてくれています。たまに子どもだけで留守番をさせることもあります。子どもが一人で外にいと近所の人が気にかけてくれます。車も多いので事故に遭わなければ良いなと思っています。自治会の行事に参加しています。

#### ●こども未来部長

自治会に参加していると、地域とつながっていきますね。

●今住んでいるところに、子どもの友達がいません。休日に児童館、公園などに子どもを連れていきます。保育園からの情報で、行事などに参加しています。アミュー8階の子育て支援センターにも行っています。

●上の子のときは地域行事などに参加していました。そういった場で近所の方々と仲良くなったり、近所の人から子どもがどこで遊んでいたかなど教えてもらったりもしています。小学校の放課後子ども教室に参加しています。下の子が小学校に上がるので、今後いろいろと参加させたいです。

●毎月公民館だよりが配布され、地域の行事が掲載されているので、一緒のクラスの親同士で予定が合うと誘い合って参加しています。その場に行くと、子どもたち同士、違う学年でも仲良く遊んでいて、楽しそうです。親同士が働いているので、普段会えませんが、こういった場で情報交換ができて、良いなと感じています。土・日曜日も仕事をするときがあり、予定が合わないとき悔しいです。夫の実家が近くで、一時期子どもの面倒を見てもらっていました。勤めているときは、児童館などに義母が連れて行ってくれていたようで、私が知らない人から、子どもを通じて声を掛けてくれることがあります。両親に感謝しています。

●こども未来部長

児童館や支援センター、公民館のお話が出ましたが、みなさんの地域にある施設で、入りやすい施設はどんなところですか。

●私は児童館に行ったことがないのですが、子どもだけで遊びに行っています。

●こども未来部長

児童館は指導員さんがいて遊びの指導をしてくれます。また、地域の方もボランティアをしてくれていて、御高齢の方が将棋を教えてくれているなど、いろいろなことをやってくれています。

●知っているおじいちゃんに会うと、声を掛けてくれます。

●こども未来部長

児童館は、小学校区に1館以上設置され、子どもが歩いて行ける範囲にあります。厚木市の人口でこれだけの数があることは全国でも珍しいです。是非利用してください。

●社会教育部長

お住いの地区は特に行事が多いですね。

●参加条件として小学生以上というイベントがあるので、これから参加できる機会は多くなりますが、もっと対象が広がれば良いなと思います。

●こども未来部長

子育て支援センターでは小さい子ども向けの遊びを提供しています。また、児童館では午前中開放としてお日さまタイムというものがあります。児童館は学校が終わった後に行くところと思われるがちですが、午前中も開いており、子育て支援センターの移動子育てサロンや地域のボランティアの方々が活動してくれています。機会がありましたら御利用ください。

他にも、集まる場所のお話しや事業など、こうしたら参加しやすいな、という意見はありますか。

●市長室長

皆さん働かれていますので、土・日曜日は御家族でいる時間が貴重だと感じられることもあると思います。また、上の子が習い事をされているとそれに付いて行くなどもあり、参加は難しいの



かもしれないですね。

●他市在住ですが、広報紙で情報を仕入れて参加するということがあります。子どもと一緒に参加したというのは、1回ほど、外国の人と交流するというイベントに参加したことはありました。また、図工の教室を自治会館でやっているので、月2回行かせています。働いているため、習い事はどうしても、土・日曜日に行うしかない状況です。

●こども未来部長

幼児期は心が発達する時期でもありますので、いろいろな場に参加させ、経験させることが大事だと思います。違う世界を見せていただければと思います。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

お子さんはこれから、御家庭の両親、保育園の先生との接点だけではなく、もっと広い世界に出ていくことになり、いろいろと不安になることもあるかと思います。

将来的に携帯電話、スマートフォンをいつ頃から持たせるか、上のお子さんがいられる方もいるようですので、何歳頃から持たせたのかお聴きしたいと思います。また、家でどのようにコミュニケーションを取っていただけるか、ざくばらんに話していただければと思います。

●上の子は高校1年生で機器を持たせました。周りと比べると遅い方だと思います。周りの子は持っていて、部活の情報交換が無料通話アプリだったのですが、学校で会っているときに確認することや電話で連絡を取るようにさせていました。持たせるときに約束事を作り、機器を使って良いのはリビングだけとしました。これは高校1年生では厳しいと思います。また、食事中、お風呂でも使用させない。自分の部屋には持ち込ませない。ただ、機嫌が悪いと食事中なども使用することがあり、注意しても聞きません。でも注意し続けます。夜、部屋に機器を持ちこんでせいで、朝起きられなくなり、学校への遅刻が続いたことがあったため、なぜダメなのか本人に伝えるように話しました。日が経つと戻ってしまうのですが、声を掛け続けるということを大事にしています。

●社会教育部長

携帯電話、スマートフォンの持たせ方のお手本ですね。

●市長

すごいと思います。

●ただ、学校に休みの連絡をしようとしたところ、子どもに無料通話アプリで連絡すると言われたことがありました。先生が生徒全員と情報交換をしているようで、学校の欠席連絡が無料通話アプリで良いことに驚きました。知らないところで、どんどん連絡が取り合えるようになっていきます。

●こども未来部長

お子さんの機嫌が悪かったのは中学生くらいまでで、高校生になったら落ち着いてきましたか。

●中学2年生くらいからガラッと変わり、高校3年生まで、意思の疎通はできますが引きこもることもありました。今は心のバランスが落ち着いたようです。無理にはしないようにしてしまし

た。

●学校教育部長

言い続けることはすごいですね。

●怒ってしまうとお互いぶつかってしまうので、でも言い続けました。中学2年生になって兄が妹のことを受け付けなくなりました。予想していなかったことが家族の中で起こりましたが最近  
は戻りつつあります。

●社会教育部長

お父さんの服と一緒に洗濯をされるのは嫌、という話は聞いたこともありますが、兄妹でもあるのですね。

●市長

うまく抑えていてくれたのですね。

●学校教育部長

親としての姿勢を貫く。言い続けることをやめないと、戻っていくのだと思います。

●共働きだったこともあり、小学校1年生でスマートフォンを渡しました。私が夜勤の場合は、下の子は夫が迎えに行ってくれます。上の子が放課後児童クラブから早めに帰ってきた後の1人になる時間など、安否確認のための電話だけにはしていました。無料通話アプリは家族だけという限定でグループを作りました。連絡先は私と夫と、祖父母の4件しか入っていません。インターネットの閲覧にも全部ロックをかけて使用できないようにしています。勤務が終わった後、ネットを閲覧していないかなどのチェックするようにしています。でも、親が操作しているところを見ているのか、覚えているのか、ロックを解除されてしまいます。毎日チェックをして、何度ロックを変えても、解除されてしまいます。どこで見ているのかと疑問に思います。

●市長

毎日チェックしているのですか。

●仕事から帰ったらチェックをしています。動画を見ていたことなども注意します。子どもは文句を言います。

●学校教育部長

皆さん戦っていますね。大事だと思います。

●上の子は高校の入学祝いで持たせました。今のところは親の言うことを聞いています。充電器は夫が保管しています。放課後に友達と通信ゲームをするようで、帰ってきたときには電池残量がなくなり、使えない状態です。タブレットを使って中学生の子どもが無料通話アプリを使っていますが、家族全体の共有物としているので悪用はしていないと思っています。私は機械についてあまり詳しくはありません。

●こども未来部長

機器を渡す際に、なにか約束はしましたか。

●リビングで使うこと、充電器は父親が保管、あまりにも勉強の成績が落ちると取り上げることもあります。インターネットなどにフィルターもかけています。

●教えていないのですが、図書館の本の検索機能を使えています。また、天気の話などをしてい  
ると、調べるように機器を渡されます。親が使っていると、覚えてしまうのでしょうか。

●使い方を話し合って、制限もしています。子どもが映画などをダウンロードして視聴していま

す。GPS機能もあり、子どもがどこにいるのか分かります。便利なので、様々なことを考えると、携帯電話を持たせないという理由が見つかりません。指輪型のGPSなどもありますが、携帯電話が一番便利です。制限をした上で持たせることは良いことだと思います。時計を読ませる、インターネットで調べものをすることもできます。調べる時間がとても大事で、図鑑の必要性も考えるのですが、インターネットも便利だと感じています。どちらが良いのか答えが出ません。機器を持たせるなら、高校生からと考えています。

#### ●学校教育部長

子どもの方が知識の吸収が早いです。そのため、大人では思ってもいないトラブルに遭うことが多いです。それを勉強する機会があると良いと考えています。今、全ての小中学校で携帯電話教室を実施しています。小学校高学年に説明した内容を、低学年にそのまま話しても難しいと思うので、保護者を対象とした教室も実施しています。そういった機会も利用いただけると良いと思います。

●子どもがまだ小さいので機器は使わせていません。スマートフォンをいつ持たせるかもまだ考えていません。この時代、スマートフォンは重要なものと思っています。ただ、皆さんの意見を聴いて、機器を子どもに与える際には両親が管理をしないといけないと感じました。

#### ●こども未来部長

青少年問題協議会という会議でスマートフォンをテーマにした研修がありました。私たちが考えられないような危険があります。例えば、子どもが匿名でインターネットに投稿した情報から個人が特定され、保護者にまで影響が及ぶこともあるそうです。すごく便利な道具ですが、悪用したらとても怖いということを知ってほしいです。

#### ●学校教育部長

それぞれの状況もあると思いますので、各御家庭で持たせる際にルールを作ると良いと思います。ただ、保護者が機器のことを学ばないと、子どもに教えることができません。学校の先生も携帯電話、スマートフォンの使い方を学ばなければなりません。

今まではSNSの利用、課金制度などの問題が多かったのですが、依存症が問題になってきています。依存症で学校に行けなくなった子どももいて、医療による治療が必要な状況になったという事例もあります。

一方、新入社員に電話の受け方研修を行った企業の話ですが、登録した相手との携帯電話の使用が多いことや、家の電話の取り方を経験していないことから、講師が指導するのに大変苦労したそうです。

私たちは、子どもたちを守りながら、機器を使わせるようになると思います。

#### ●教育長

どの学年で携帯電話教室を実施するかは学校によってばらつきがありますが、小学校中学年くらいから教室を始め、対象によって指導の方法を模索し、高学年からは本腰を入れていかなければならないと考えています。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(4)中学校

日時 10 月 16 日 (月) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 1

### テーマ 1 「子どもを守るための家庭での取組について」

#### ●学校教育部長

様々なところで子どもを守る場面があるかと思いますが、本日は、携帯電話、スマートフォンに関わる課題、御意見をお聴かせいただきたいと思います。

最初に、既にお子さんが機器を持っていたり、また、持たせる際に不安なことがあったかをお伺いしたいと思います。

●下の子が中学生ですが、スマートフォンを持っています。末っ子ということもあり、上の子が持ったときに持ちたがり、小学校 6 年生のときに持たせました。約束もたくさん用意していましたが、今はあいまいな状態となっています。ただ、食事中、家族旅行中は触らない、という約束は今でも守らせています。写真撮影は仕方がないのですが、ひどいと隣にいる上の子と無料通話アプリをしていることもあります。楽しいかと思いますが、注意をします。高校生の子どもはバイトをしているので、そこから使用料金を支払わせています。そのため、中学生の子には親が機器を貸している、と言い聞かせ内容をチェックできるようにしています。

●一番下の子が中学生ですが、まだ持たせていません。中学生の子には、もうそろそろ持たせても良いかと考えているのですが、上の子 2 人は高校に合格したら購入するという約束で受験を頑張ったので、中学生で購入するとなるとケンカになります。部活の連絡方法が無料通話アプリで、仲間外れになることが不安なため、現在検討中です。

●兄弟揃ってスマートフォンを買い与えました。最初は、悪いことばかり心配していましたが、家族で無料通話アプリをするようになり、考えを文章で伝えてくれるようになりました。顔を合わせると暴言ばかり言われていましたが、コミュニケーションツールとして良い面もあると思いました。ゲームをしてしまい、良くないことも多々ありますが、良いこともありました。

●中学 2 年生のときに持たせました。支払いは父親なので、親の物を貸しているだけと言い聞かせて、いつでもチェックできるようにしています。課金もできないようにしています。初めは約束事がありましたが、あいまいな状態になっています。下の子には上の子と同じくらいになるまでは持たせたくないと考えています。

●携帯電話は下の子が小学 2 年生のとき、子どもたちだけで県外に帰省させるときに持たせました。上の子には要らないと言われたのですが、心配だったため、下の子に持たせました。その後、上の子はサッカークラブに入り、クラブチームから子どもと直接連絡のやり取りをさせてほしいと言われ、携帯電話を持たせました。上の子は中学生のときに、自分でお金を貯めて無料通話アプリができるタブレットを購入しました。約束事もありましたがトラブルがありました。高校でスマートフォンに替えて、下の子も同時期にスマートフォンにしました。外部とのコミュニケーションの危険性はしっかりと伝えているので、そういったことに関しては安心してはいますし、機器のチェックもしています。ただ、子どもの方が上手なので、履歴など消されていることもあり

ます。下の子は動画に熱中しています。

●機器は持たせていません。塾の送り迎え、休日に遊びに行くときなどの非常事態連絡用に、制限を掛けた上で、親の携帯電話を渡します。その間、私はタブレットを使用しています。学校の友達が自由に使えている様子を見ると、圧力を感じます。特に女の子はそこから友達との輪ができていくので、様子を見ていますがどこまでもつか、ただ、機器を持たせることについて、両親で意見を同じようにしようと考えており、お父さんもお母さんもダメと言っています。

●夫の仕事の都合で県外にいました。周りは、子どもは機器を持たなくても良い、という考えだったので子どもたちとのやり取りにも困ってはいませんでした。こちらに引っ越したら機器を持っている子がいました。中学校入学後、無料通話アプリが上手に使えるなら良いかと考え、こちらから持つかと声を掛けました。心配していたよりは依存もなく、今に至っています。機器を持たせて危なかったこともありません。学校の保護者懇談会でスマートフォンの話になりましたが、男の子はゲームに熱中してしまい困る、という意見もありました。

●学校教育部長

皆さん、持たせるタイミングも約束事も十分に考えているという御家庭で、安心しました。機器のチェックをする際、お子さんもある程度の年齢までは内容を見せてくれるかと思いますが、いつかは断られてしまうのでしょうか。

●高校生になった際、もう良いよね、信用してくれるよね、という話が子どもからありました。

●学校教育部長

ある程度は信用して、自立させなくてはならないですね。親よりも子どもの方が覚えは早いのですが、その辺りで考えを持っている方はいられますか。

●子どもと同時期に私もスマートフォンにしました。子どもと同じ機種を購入しましたが、子どもにも使用方法を教えてもらっている状況です。追いついていけないので、ある程度は信じなければならぬのかなと思いますが、ちょっとした一言で感じ方が違ってくると思うので、無料通話アプリでもメールでも、文章を送るときに読み返そうね、と言い聞かせています。

●無料通話アプリで軽い感じで文章を送ってしまい、思った以上に相手に不快な思いをさせてしまったことがありました。直接話せばなんともないやり取りなのですが、文章、無料通話アプリの怖さを親子で経験しました。

●学校教育部長

携帯電話、スマートフォンの扱いについて研修を受けました。会いたい、という意味合いで送った文章「あいたくない」や、交通手段を質問した「なんでいくの」など。私たちにも経験がありますが、文字入力、変換を誤るととんでもない言葉になることがあります。お子さんには注意するよう促されていることかと思いますが、子どもの方が操作などの覚えが早いため、親が付いていけないことがあります。また、悪意がなくても、誤解を招きトラブルとなることがあります。

先ほどのお話では、懇談会でお話があったということですが。

●授業参観後の懇談会「家で気を付けていること」というテーマで、勉強の妨げになっているもの、イコール、スマートフォンという意見が出ました。

●学校教育部長

携帯電話、スマートフォンに熱中してしまい、その時間をほかに使ってほしいと感じることはありますか。

●学校から帰ってきてずっと動画、ゲームに夢中になってしまい動きません。注意はしていますが、料金は発生しないので、どのように注意するべきか考えてしまいます。

●動画が好きで、部活など忙しいのですが、朝から晩まで合間に動画を視聴しています。見たい番組がたくさんあるようです。成績がある程度に達しなかった場合没収としています。テレビは見ないで動画に熱中しています。動画をどうするべきか考えてしまいます。

●こども未来部長

親が機器を貸しているので、時間制限などを設けることはできませんか。

●子どもに声は掛けますが、私の方が先に寝てしまうので、その後ずっと使用しています。

●一応は、声を掛けるのですが、目覚まし時計としての使用や部活の連絡が無料通話アプリで入ってきてしまうため、取り上げづらいです。学校側も、無料通話アプリがないと連絡がつかないような時代になってきてしまっています。集合時間などは学校で決めてきなさい、と言うのですが、子どもたちは無料通話アプリで決めよう、と話をしてくてしまいます。問題だなと感じています。

●こども未来部長

プライベートだけで使用しているのなら時間で親が機器を保管することもできるのですが、部活の連絡なども入ってしまうとなると、問題になってしまいますね。

●中学校の部活は連絡網ですが、無料通話アプリになってしまうのですね。

●中学校では、顧問の先生が部長に連絡して、連絡網を使うように話していると思うのですが、その後手間なのか、無料通話アプリで情報が流れます。先生は無料通話アプリが使われているとは思ってもいないかもしれません。

●クラスは連絡網がなくなりましたが、部活は先生が作っています。

●県外からの引っ越し前、連絡網はありませんでした。こちらの学校にはあったので驚きました。学校は一斉メールがあります。部活では一斉メールが使えないのですが、それでも良いのかなと思いました。

●以前は連絡網もありましたが、厚木市は外国人の方も多く、言葉が通じないこともあり電話が難しいこともありました。その際は、子どもに無料通話アプリで連絡するようお願いしますが、親もそれを頼りにしてしまう部分があります。

●学校教育部長

ケースによっては、正確に早く伝わることもあります。

●良い面もあります。

●学校教育部長

今までのお話の中で、面と向かって会話は無いが、無料通話アプリでコミュニケーションが図れたということもあるのですね。

●顔を合わすと文句か、小遣いくれ、などしか言われません。無料通話アプリでは、今どこにいる、明日は弁当、など連絡が来ます。文章では、お願いします、や、ですます調なので、こういう文章も書けるのかと感心しました。また、機器の扱いが分からないとき、子どもが教えてくれることなどがコミュニケーションになります。プラスの面があったことに驚いています。

●学校教育部長

本日の主催者側の世代は、子どもが中学生になっても携帯電話を持たせない世代でした。そも

そも機器がありませんでした。今の若い保護者の方々は、違う悩みが増えていくのかと思います。教育委員会で話題になっているのが、依存です。研修会で話がありましたが、治療がなくなるといふ依存もあるようです。本日お話しいただいた皆さんの御家庭は大丈夫だと思いますが、学校に行けなくなる、他のことに手を付けられなくなる、ということもあるようです。その主力がオンラインゲームです。無料通話アプリは他者とのやり取りとなり、家族内なら良いと思います。そんなことも視野に入れながら、学校でも安全教室をやっていく必要があると考えています。

#### ●教育長

皆さんの話を聴いていると、中学生くらいで機器を持つ時期なのだと思いますが、学校として、教員は、子ども全員が機器を持っているということを前提にはいけません。ただ、時期は違うかもしれませんが、やがては機器を持つことになるので、どのような便利な点、危ない点があるか、教室を繰り返し行うことが必要であると思います。中学校では全校で携帯教室に取り組んでおり、家庭教育学級でも話題となって開催しているところもあります。小学校でも中学年で始めています。厚木中学校では「卒業生に教わるSNSの使い方」という、高校生から教えてもらう教室が行われました。様々な方法があると思うので、学校の実態を踏まえ、調整しながら実施していかなければと思います。

#### ●学校教育部長

学校で出来ることもまだまだあると思います。機器の機能が増えるたびに、我々も勉強し、予測しながらトラブルを対処することが必要だと思います。また家庭で何ができるのか、共有していけると良いと考えています。

●小学生となると、ゲーム機でw i - f i のやり取りができます。同級生同士でゲーム機を持っており、子どもが汚い言葉を使ってやり取りをされていて注意したことがあります。スマートフォンよりも怖いのかなと思います。

●ゲーム機でそういった経験があります。友達限定と分かるように遊ぶのは良いと思うのですが、親戚の子どもが知らない人とやり取りをしていたことがありました。大人なのか、性別も分からない人でした。怖かったので、子どもにも強く注意をしています。

#### ●こども未来部長

青少年問題協議会でネットトラブルをテーマにした研修をしました。ゲーム機でインターネットに簡単につなげて遊ぶことができ、子ども同士で遊んでいるつもりが、大人と遊んでいたということもあります。匿名でやり取りをしていたはずが保護者名などを割り出されてしまい、情報を発信されてしまうこともあるそうです。つながった人が必ずしも子どもだとは思わない方が良い、怖いこともあると話をしていかなければならないです。便利ですが、怖さもあります。良い点も悪い点も両方分かった上で、使わなければならぬと思います。

#### ●市長

皆さんのときはどういうきっかけで機器を持たれましたか。

●親同士のつながりで持つようになりました。子どもには、時代だよと言われてしまいます。

●そもそも携帯電話は社会人になってからでないと持てなかったです。公衆電話もなくなり、連絡の手段として持ちました。

●ポケベルに始まり、携帯電話を持つようになり、なくなるとすごく困るなと思いますが、そう思う年齢が下がりすぎていると思います。親同士は毎日会えないのですが、子どもは学校で会え

ます。話せることは学校で済ますように、と言っています。

●今の子どもは待ち合わせの約束がいい加減です。いつでも簡単に連絡が取れるので、なんのための約束なのかと感ずることがあります。子どもにそのことを言っても、時代だ、と言われてしまいます。

●大人でもほとんどの人が機器を持っています。大人が子どもを注意できません。

●食事中は機器に触らないように子どもと約束をしています。そのため、仕事の連絡がある場合もありますが、夫にも触らないようにお願いしています。

●学校教育部長

今までの話の中で、家族旅行、食事中は機器に触らせないようにする、という話がとても意味のあることだと思いました。ただ単に約束しているだけではありません。依存症専門の先生もおっしゃっていました。治療の一番良い方法は、全く使わせないと反動があるため、使わせるけれどもその時間を短くしていき、その分違う楽しみを与えることが大事だということでした。それは、家族でいる時間、家族旅行などが当てはまると思います。工夫をしながら続けていければ良いと思います。

## テーマ2「地域での子育て支援について」

●こども未来部長

アメリカの著名な発達心理学者エリクソンが、それぞれの年代ごとの特徴とその時期にどういったことが起きるのかをまとめた著書があります。中学、高校生時代の青年期は、アイデンティティの確立の時代で、自分はどんな人間か、何になりたいのか、どうなっていくのか関心を持ち、悩みを迎える時期と言われています。自分は自分であると自信を持つことが大事で、自分なりの価値観、家族の中での役割などを見出し、社会との関わりを少しずつ持つ時間となります。流されてゲームや無料通話アプリをしてしまう、でも自分ならその時間に他のことをする、など考える時間を持たないと自分が確立できず、ふらふらしてしまうと言われています。

青少年問題協議会の話もそうですが、子ども会、ジュニアリーダー、健全育成会、PTAでも機器の使い方の勉強をしています。また、大人たちが夜中に散歩している子どもに声掛けをするような活動もしています。一部の子どもたちは、携帯電話、スマートフォンで見ている世界が実際の世界だと勘違いしてしまい、どちらが正しいのか分からなくなることが多くなってしまっているそうです。活動の中で、隣近所の大人たちに声掛けをしてもらおうという活動も進めています。

2つ目のテーマで、地域のつながり、絆というテーマを設定させていただきました。家、学校、部活の行き来だけでは、狭いつながりの中で生きていくこととなってしまいます。地域の活動や自治会の集まりなど、中学生くらいになると参加しづらくなるかと思いますが、地域のつながりを作ることはとても大事だと思っています。

地域の集まり、自治会活動などに皆さんは参加されているでしょうか。参加されていない場合はその理由をお伺いさせていただきたいと思います。

●自治会が活発ですが、私が住んでいるマンションは自治会に入っていない。小学生のころに学校全体で参加しようという声掛けがあり、防災訓練で小学校に集まりました。結構な人数



で、その中でも高齢な方が一生懸命活動してくださっていました。中学校は活発で、地域密着型の活動が多く、子どもたちも地域の人たちと出会える機会が多い学校だと思います。今年初めて、地区合同でラジオ体操を実施し、PTAも参加しました。あゆコロちゃんも来てくれて、あゆコロちゃん体操をしました。その後、相模川のパトロールをする中で、小学校の校長と話をする機会があり、様々な話を聞くことができました。また、別の機会に愛のパトロールで地区を回り、道を知ることができました。田んぼが多く、人や家が少ないのか、とても道が暗く感じました。子どもは部活から16時半くらいに帰ってきてしまい、活動時間が短く感じていたのですが、暗くなるのが早く、またそういった道を歩かせることが怖いとも思いました。ただ、パトロールをして、安全な道などを知ることができました。

#### ●こども未来部長

地域の方々も一生懸命パトロールを実施し、子どもたちを見守ってくれています。皆さんもお時間があるときに、協力していただければありがたいと思います。こういった機会があると、子どもの目線で見ることが出来ますよね。

●意見があったのですが、公民館図書室の開館時間を延ばして、学習室を設けていただければと思います。子どものスマートフォンにインターネットの制限をかけているのですが、宿題などの調べものをする際に、学校から帰ってきたときには図書室が閉館時間になってしまいます。開館時間を延ばせば、そこで調べものもできますし、学習室を設置していただければ、地域の人たちも集まって関わりを持つこともできると思います。

●他から転入し、マンションに住んでいたころには自治会加入の誘いもなかったので、入ることなく数年が過ぎ、最近家を建て、そこでは自治会に入っています。地区の運動会などのポスターが掲示されていますが参加しづらいので、地元とはPTA役員以外では行事に関わっていません。子どもたちは友達に誘われて参加していますが、PTAの役員をやらなければ地域との関わりが持てなかったと思います。地区は子ども会などに熱心ではなく、登校班もないので、親が参加する機会もなく、積極的にならなければ関わり合いもなく子育てが終わってしまう感じです。

#### ●こども未来部長

地域と接点を持つことで、子どもが地域の人に覚えられて、犯罪が防げたということもあります。

#### ●社会教育部長

地域の行事は、公民館だよりなどでもお知らせしています。

●掲示はされていますが、配布等もされないため参加しづらいです。

●行事は子どもがあまりついて来たがらないです。子ども会は隣の自治会と夏祭りをしており、子どもが手伝いをしてくれています。高学年、中学年のくらいの子どもの多いのですが、だんだん行く子どもも少なくなっています。子どもも今年は参加しなかったです。年末の大掃除は、中学1年生のときは参加しました。9月の防災訓練は学校から声掛けがありましたが、行っていません。接点が薄いのかなと感じています。自分から行かないと接点を持ってないのですが、子どもも行きたがらない時期です。

●地域の活動には、先生を通じて参加することとなり、地域がどのように何をしているのか、どれだけ子どもたちを助けてくれているのかが知れて、自治会活動に参加するようになりました。今見ると、農家や自営業の方に頼っているところが多く、次の世代になったらどうなるのかなと、

そういう不安があります。

●子どもが小さいころから行事などに参加しており、地域の人には子どもも知っていただけています。中学生になってから、参加する側だったものが、いらっしやいませと声を掛ける側になり、それがうれしく、親も地域の行事には参加するようにしています。また、近くに住宅街ができましたが、同じ地区に知らない人たちがどんどん引っ越されてきているので、行事にはなるべく参加しています。地域の人たちに守ってもらいながら、私もお子さんには声を掛けるようにしています。

●こども未来部長

他から引っ越されてきて、声を掛けられたことがうれしく、今度はこちらから声を掛けるようにしよう、と思われた方もいるようです。大事なことだと思います。

●知らない人に声を掛けられた、と家で話をすることもあるそうで、小学生に声を掛けても反応がないことがあります。負けずに声を掛けるようにしています。

●住んでいる場所は、学区と自治会区が異なります。所属している自治会は子どもが通学していない小学校のお子さんが多く友達がいないので、隣の自治会の運動会などに参加したいのですが、お知らせは所属している自治会からしかもらえません。難しい場所です。中学校のPTAでは、通学していた小学校の担当の充職になったことで、初めて隣の自治会のことが分かりました。今私は、役員として隣の自治会行事に参加していますが、子どもは参加できません。簡単には解決できないことだと思います。子ども会も少なく、参加はしていません。

●社会教育部長

学校区や公民館区、自治会区が違い一緒にすることは難しいのですが、他の方法を検討していると考えています。お知らせが行かないのは良くないと思います。

●公民館だよりも来ないので、地区の行事に参加したいのですが行けません。PTAをやることで情報を得ることができそうですが、私がやめてしまうとそれもなくなってしまいます。

●こども未来部長

地域の行事になかなか参加できないこともあるかと思いますが、地域に出て様々な人と関わり、親と違う価値観を持った人から褒められることや、自分ができたことなどで自信がついていくと思います。地域の方との接点を積極的に与えていきたいと思い、話を伺わせていただきました。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(5)小学校

日時 10 月 31 日 (月) 午前 10 時から正午まで

場所 依知南公民館集会室

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

厚木市では県内で初めて「こども育成条例」を策定しました。この条例は「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、高齢者の方々が、例えば黄色いベストを着て登下校を見守ってくれるなど、様々な方法で子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われています。そこで、皆様は地域の一員としてどのように地域と関わっていけば良いのか、意見をお伺いしたく本テーマを設定しました。

聴きたいポイントは2つです。1つ目は親子で地域行事や子ども会などに参加されているかどうか、また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

2つ目として、どのような仕組みであれば、参加しやすくなると思いますか。

学童期の子どもたちは、これまでの幼稚園・保育所などから、より広い社会に出ていくこととなります。この時期に、自宅と学校との行き来だけではなく、地域の行事などに参加することによって、様々な世代と関わり、社会に関心を持つことがその成長に有効であると言われています。

是非、子ども会や地域行事などに参加していただければと思うのですが、参加が少ない学校・地域があるので、お聴きしたいと考えました。

●ほぼ参加していると思います。団地に住んでいますが、それ自体が自治会になっていることで参加しやすいです。また高齢化が進んでおり、そういった方たちが声を掛けてくれています。ISS（インターナショナルセーフスクール）に認証されている学校で、地域ぐるみで子どもたちを見守ってくれており、安心感があります。行事にも参加しやすく、子育てもしやすいです。子どもはボーイスカウトに入っていて、活動が重なってしまい、子ども会には入っていません。ただ、子ども会に入っていなくても行事に声を掛けてくれています。実際に子ども会に入ったとしても、どれだけ参加できるか。また、私自身もどれだけ手伝えるか考えると難しいです。

#### ●こども未来部長

地域の活動も多く、参加していただければ社会に接することができると思います。

●地域で取り組んでいることで、登下校も安心できます。また、夜のパトロールに参加させてもらったりもします。そういうことをしてくださっていることを知れて、安心できます。

●子どもがドッジボールのチームに参加しています。子ども会に入らないとチームに入れないという決まりがあり、子ども会に入りましたが、自治会加入も少ないため、子ども会が昨年度活動を終えました。地元で

育った方々が子ども会に加入しない状況です。小さい自治会だと加入が自動的にになっているところもあると思うのですが、自治会が大きくなると転出転入も多く、自治会も自動的に加入するはずだったところが任意となり、様々な理由で退会していく方がいるようです。今は野球やサッカーなど習い事もあり、子ども会に入らないとコミュニティが築けないという時代ではなくなってきています。私が子どものころには子ども会に入ることが当たり前だったのですが、人によっては加入が億劫で、どうせなら自分たちのやりたいことをやる、あまり関わりたくないという考えの方もいるようです。人数が少ないため、親も子ども会の役員を数年続けてやらなければならないのですが、小学校低学年の子どもの保護者に役員をやって、とは言いづらいです。自治会、子ども会加入の考えについて、人によって温度差が大きいです。自治会の方が子どものために見守りをしてくれていて、毎朝子どもたちに声掛けをしてきています。地域にそういった方がいらっしゃるということが、良いなと思っています。

●自治会と子ども会にはほぼ参加しています。子ども会は親たちが役員になるのが大変なので、入れたくないという考えもあり、少なくなったなと思うこともありますが、子どもたちは活動を楽しみにしています。来年、子ども会会長を引き受けさせてもらおうかと考えており、活動を増やしていきたいと思っています。自治会も高齢化が進んできており、大変なので入りづらいという人もいますので、私ができることはやっていこうかと思うのですが、仕事をしているお母さんも多いのでどこまでできるか。私が子どものころ、子ども会に入ることが当たり前で、行事も多く参加していて楽しかったことを覚えています。今は行事が少ないと感じているので増やしていけたら良いなと、頑張っていきます。

#### ●こども未来部長

楽しかった、ありがたかった、返したいという思いを持っていてくださり、できるときにできることをしていただければと思います。

●土・日曜日は習い事や野球チームの試合、父母会もありサポートをしている状況です。子ども会は平日の夕方などであれば行事に参加できるので、できるときは参加しています。土・日曜日に行われる公民館まつりなども子どもは参加したいのですが、行けない状況です。役員も引き受けたいのですが、自分の子どもの参加が少ないのに、どこまで支援していけば良いのかと考えてしまうことがあります。これから、子ども会をどうしようかと悩んでいます。今は続けていますが、この先学年が上がるにつれて、野球の試合に参加する機会が多くなるとそちらを優先せざるを得ない状況なので、子ども会に参加することができないかと思っています。でも子どもは子ども会にも参加したいと言うので、板挟みという感じです。地域行事にも出られるときには参加するようにしています。働いている母親も多いため、行事の準備のために仕事を休む調整が大変で、子ども会は遠慮しようと考えていられることもあるようです。子ども会に入る人数も少なくなっていますが、今は自動的に一年間だけ子ども会に入ることとなっています。

#### ●こども未来部長

一年だけでも違いますよね。

●いろいろと関わりがありますし、子どもたちは楽しんでいるようです。

●自治会、子ども会にも参加したことはありません。周りの方たちと関わる機会もなかったなので、自分もそういった活動に参加していません。入り方が分からない、入った時の利点も分かりません。子どもは公民館まつりには参加しているので、手伝えれば良いなとは思っているのですが、忙しく仕事もあまり休みたくないと考えています。負担が増えるのは嫌、という考えが当てはまっています。

●こども未来部長

習い事などはされていますか。

●習い事をしていますが、地域とは違うところです。厚木市のコミュニティには参加していません。

●こども未来部長

自治会のお知らせもないですか。

●ないです。引っ越してきて、声掛けがあったのかもしれませんが、断ったのか、誘いも来ていなかったのか、孤立している訳ではないのですが、家族ぐるみで付き合っている近所の方もいません。

●こども未来部長

今はPTAの役員となって活動をしていただいています。

●厚木市で育って、結婚や仕事の都合で他市に出て、2年前にまた戻ってきました。こちらで子育てをして、こんなにも充実していて、ありがたいなと感じています。上の子と下の子の年が離れているため、下の子のコミュニティを作ってあげられていない状況です。自治会と子ども会に加入しましたが、同時に野球も始め、子ども会に参加できなくなってきたので、その内役員が回ってきました。自分が子どものころ、子ども会のドッジボールが楽しかったのですが、少子化の問題もあったのか、今では規模も小さくなったと感じました。引っ越してきて、友達が地区に少ないので、子どもも私も一歩踏み出せていません。上の子は野球が楽しくなってきて、子ども会に参加したかったのですが、忙しくなり子ども会をやめました。上の子が子ども会をやめてしまったので、下の子も続いてやめてしまいました。今は子ども会の行事がよく分かりません。子ども会に入っていない子にも声掛けをしてくれれば入りやすくなるのではと思います。

下の子は公民館の行事は好きでよく参加しています。地域の行事にも参加させていただいています。児童館は一回も行ったことがありません。自治会が高齢化が進んでいると感じました。顔見知りの人もいますが、知らない人、初めての方は参加しづらいと思います。防災訓練は若い世代の人は参加していません。若い世代が参加しやすいようにできれば良いかと思いますが、役員をしてほしい、と言われると引いてしまいます。若い世代を取り入れてほしいと思う反面、高齢の方は活動を生きがいにしているようなので、2世代で一緒にできる地域づくりができると良いなと思います。

●自治会、子ども会にも入っていません。厚木市に引っ越してきて、自治会は周りも入っていないため、入りませんでした。子ども会もどうしようか悩みましたが、幼稚園のお母さん方の話で、役員が順番に回ってくるなど、いろいろとあり途中でやめたという話を聞き、負担になると思い入りませんでした。子ども会はお誘いの話もありませんでした。子ども会で何をしているのか分かりません。どのような活動をしているのか教えてもらえたり、子どもから入りたいと言われたら考えたいと思っています。子どもは児童館の行事に参加することもあり、楽しいようです。親の負担が少なければ良いのではと思います。

●こども未来部長

参加したいが、役員が大変だと言われます。そういった意見もあり、子ども会の中で改革委員会を作りました。役員の仕事の軽減のため、マニュアルを作り、エクセルやワードの資料作成が簡単にできるようにもしています。自治会でも子ども会を復活してほしいという意見もあります。中には自治会内の組織として子ども部というものを作り、保護者の負担を少なくしようと活動してくれているところもあります。

子ども会に入らない理由の大半が、役員、習い事などです。何をしているのか分からないということもあり、子ども会のお知らせを入学式に配布していましたが、違う時期に配布しようとしています。

同じ価値観の大人とずっと一緒にいるのではなく、違う世代、違う大人と関わることで褒められる経験もあると思います。違う方たちと付き合うことも子どもの成長にプラスになっていきます。

また、親としてどうするかということですが、精神心理学者エリクソンは、子どもを産み育てていく世代について、親として過ごすことだけではなく、所属する社会と関わるのが大事だと言っており、自分の時間を少しでも犠牲にして自分以外の何かと関わることで、そこから自分一人では得難いものを得られるようになる、と指摘しています。

地域の集まりやPTAなど、皆さんは御参加くださっていますが、中には関係ない、という考えの方もいらっしゃると思います。いざという時、例えば災害が起きた際、近くの人にお世話になることがあると思います。行事だけでも参加し、地域と関わりを持っていただくことが大事だと思います。

#### ●市長室長

I S S（インターナショナルセーフスクール）について、市長から御説明をお願いします。

#### ●市長

家から学校までの通学路、学校の教室、校庭、家に帰るまで一貫したプロセスの中で、怪我をした、事故があった場所について、マップにシールを貼り、どうして事故が起きたのか検証します。事故が起こることは偶然ではなく必然で、何かしらの原因があります。データを集めて防ぐことがI S Sです。これはWHO（世界保健機関）の制度で、学校での事故が多いためこの制度を取り入れました。この制度はS C（セーフコミュニティ）の取組の一環で、厚木市全体でS Cに取り組んでいます。黄色いベストを着た見守り活動はこの制度から始まりました。清水小学校が市内で初めに取り組んでおり、すこやかネットワークというつながりで学校、PTA、地域とが一体となり、社会全体で子どもを守る活動をされています。この活動により刑法犯認知件数が多い年で7,100件から2,400件に減少しました。何か事件があると警察、となりますが、本当に大事なものは社会の大人一人一人の目です。

東日本大震災が起きた際、誰が一番助けてくれたのか、それは近所の人たちです。隣近所、友達、人のつながりが大事で、子ども会もその一つです。クラブチームで野球、サッカーをすることも大事です。子どもたちの希望が第一で、それを大人が手伝い応援していく。人のつながりによって社会ができているということを、親が教えてくれました。それを切ってしまうことはいけないと思います。切れた後、子どもはバラバラになってしまい、好きなところとしかつながりません。例えば、無料通話アプリでつながれる人としかつながらない。顔を見て話さない、文字だけの付き合い。そうなった社会は殺伐としたものになってしまうのではないのでしょうか。災害や火事などの際も、近所が一番に反応してくれます。自治会とは自らを治める、子ども会もそうですが、任意で活動をしてあげることが大切なのです。このままではつながりを忘れてしまう、ということで、自治会が子ども会に力を入れてあげているところがたくさんあります。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

#### ●学校教育部長

携帯電話、スマートフォンの使い方に絞って、話をお伺いしたいと思います。もう既にお子さんが携帯電話、スマートフォンを持っていられる御家庭はありますか。これまでのコミュニティトークでもお聴きしていますが、小学校低学年でキッズ携帯を持たせているケースは多かったです。防犯上、所在確認のために持

たせているようで、キッズ携帯は便利という話をお聴きしています。大人が使っているような携帯電話を使わせているということはありませんか。

●親の古い携帯電話をw i - f iにつなげて使えるようにしています。友達も何人か持っているのもういった子や祖父母などの親戚と連絡が取れるようになっています。家の中でのみ使えるようにしており、時間を区切ってw i - f iを切ります。

●学校教育部長

参考になります。いつか、子どもたちのキッズ携帯を携帯電話、スマートフォンに替える時期が来ます。この時代なので生涯、機器を持たないという子どもはいないかと思います。イメージとして、何歳頃から機器を持たせようと考えていられますか。

●中学生の子どもと同級生は、中学入学の際にスマートフォンを親子で購入されていました。子どもが通っている小学校でも6年生の8割は機器を持つグループができています。所持が低年齢化していると思います。中学に入ると所持率がぐんと上がります。我が家では子どもに私のスマートフォンを渡して、私の無料通話アプリのアカウントで友達とつながります。内容は全部見ることができます。夜中に無料通話アプリのメッセージが来ることもあります。やり取りの中で、気になることがあるときには、その子の保護者に話をすることもあります。プロフィールなどに、死にたい、消えたい、と残している子もいます。仲の良い友達に気遣ってほしいようですが、保護者は気付いているのか疑問に思います。内容を確認して良い、と話していて、初めはチェックしていたのですが、内容をチェックしなくなってしまう、どのような友達とつながっているのか、何をしているのか分からないことがあるようです。

中高生で流行っているのですが、個人情報あげろ、名前、学校、クラス、部活、仲の良い子、最後にお気に入りの写真をあげろ、というチェーンメールが来るそうです。自分とつながっている人だけの公開にして、親には分からないようにしているようですが、友達と一緒に写っている集合写真を断りもなく公開してしまい、名前まで公開されていることもあります。チェーンメールは自分のお気に入り登録の上から何番目の人まで同じ内容で送付するように、と指示されるそうです。中学生になるとツイッターも始めます。親が分からないところで子どもは機器を使いこなしていきます。

一戸建ての家では子どもの部屋に入らないという御家庭もあります。子どもが何をしているのか分かりません。ただ、親がどこまで入って良いのか、中学生になると親に介入されたくない時期になります。

高校生になったら、バイトをして機器を購入するように子どもに話しています。

●学校教育部長

これまでのコミュニティトークでいろいろと御意見をいただいた中で多かった話が、機器に関して、親よりも子どもの方が使い方の理解が早いということです。その内にその世界にはまってしまう怖さがあります。ある程度制限をかけて設定をすることも有効だと思います。また、基本的に親が内容を見られるような状況が続けられる年齢までは過ごせるかと思います。中学校に入ると部活の連絡が無料通話アプリになるので、機器を買ってほしいと言われたが、母親の携帯電話番号を友達に教え、中学校時代は間に合わせた、という方もいられます。それで良い時期はまだ安心できます。その間に、家庭や学校で子どもたちにどのような怖さがあるのか、対応方法を教えていく必要があると思います。

ほとんどの学校で携帯電話の安全教室を実施しています。教室の実施が低年齢化してきており、保護者も一緒に参加していただき学んでいただくことがあります。いざ機器を持たせるとき、家庭でどのように約束をするか、しっかりと決めていないと難しいと思います。

●人権講座の「ヒューマンカレッジ」に参加し、機器のことについて話し合いをしました。中学生からスマートフォンを持たせる御家庭が多いようです。また、仕事をしているため、子どもにキッズ携帯を持たせざるを得ない状況の方が多いです。スマートフォンに替えたとき、暗証番号を教える、部屋に持ち込ませないなど、対策を練っているという話がありました。子どもの機器を覗くことは人権的にどうか、良いか悪いかと言われると悩みますが、子どもを守る意味では親が確認して教えてあげないといけないと思っています。

先ほどチェーンメールの話がありましたが、教室のどこに座っているか、そういったものまで公開されていることがあるそうです。子どもは親に見られていることが分かったら、見られないようにするようです。

親の機器がネットワークにつながっているため、この時代仕方がないのかなと思うこともあります。親も子育て中に、子どもについつい機器を渡してしまう、移動時間が長いと子どもが飽きないように動画を試聴させるということもあります。どうすればSNSから子どもを守れるか、子どもはまだ分かっていないので言うことを聞いていますが、私が外から帰ってきたときに機器が出されていて、使われていることがあります。祖父母も使ってはいけないと話してくれていますが、誰かが甘えさせると使われてしまいます。検索方法も教えたことがないのに、私が操作しているところを見て分かるようになるようです。所持の低年齢化もそうですが、子どもたちを守るという意味でも、親として取り組んでいこうと、学校でも保護者対象に教室を開いてくれているので、親だけではなく子どもたちにも見せてあげたいなと感じています。

#### ●こども未来部長

前回のコミュニティトークでは、親の所有物として機器を貸し与えている、という話がありました。だから内容をチェックしますよという考えで、それであれば人権問題ではなくなると思います。良い説明だと思いました。

●子どもは小学校中学年なので持たせる、持たせないなど考えたことがないのですが、社会人になるまでは親からは持たせないと考えています。機器がないと学校や友達と付き合えないのか、まったく連絡が来なくなってしまうのでしょうか。連絡事項は学校からきちんともらえています。親が監視できる自信もありませんので、あえてうちは踏み入れず、現物すら与えていません。でも使い方を覚えてきます。我が家の決まりですが、どの部屋も鍵はなく、ドアは開けっ放しです。一番の疑問は、機器を持たせない友達ができないのでしょうか。相手と顔を合わせて表情を見て話をしなさいと言っています。文字だけでは解釈ができなく、些細なことで誤解につながることもあります。今は機器を持たせる気持ちはありません。

#### ●学校教育部長

機器の使用で悪い方の影響が出ていると新聞に載っていました。携帯電話、スマートフォンは電話がかかってきた際に相手が分かりますが、会社の卓上式の電話は相手が分からないことから、新入社員が電話を受けられないため、そこから研修が始まるそうです。小さなことかもしれませんが、今の子どもたちも、機器が上手に使えるよう周りの大人の支えがないと、社会性が育たず大変な目に遭うのかと不安になりました。携帯電話の安全教室について、視点を变えて開催する必要があると思いました。

#### ●教育長



子どもの世界で何が起こっているのか把握しつつ、携帯電話の安全教室を繰り返し開催する必要があると感じています。

●学校教育部長

御家庭でも年齢によって工夫をされているかと思います。前回のコミュニティトークの話ですが、親の機器を使わせる、しかも食事中や家族旅行中は使わせないという家庭もありました。約束事を子どもたちが納得した上で、家庭の中で機器を使わせています。

小さい頃、公園でお子さんが遊んでいる姿を外から見守る、ということとは真逆のことが機器にあり、怖さがあります。普段からの親と子とのコミュニケーションが更に大事になると思います。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(6)保育園(所)

日時 11 月 18 日(土) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 2

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「こども育成条例」を策定しました。この条例は「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会、高齢者の方々、たくさんの方が様々な方法で子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われてい

ます。

本日は、皆様が地域の方々とどのように関わっているのか、お聴きしたくこのテーマを設定しました。

聴きたいポイントは 2 つです。1 つ目は親子で地域行事などに参加されているかどうか、参加されている場合は、良かった点をお聴きしたいです。また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

2 つ目として、どのような仕組みであれば、参加しやすくなると思いますか。

子どもたちは、幼稚園・保育所などの小さな社会から、より広い社会に出ていくこととなります。この時期に、自宅と保育園との行き来だけではなく、地域の行事などに参加することによって、様々な世代と関わり、社会に関心を持つことがその成長に有効であると言われています。

是非、地域行事などに参加していただければと思い、このテーマを考えました。

●地域行事、子ども会の存在自体を知りません。マンションで自治会に入っているとは思いますが、入り方、どのように参加するのかなどは知りません。大道芸などのイベントには参加しますが、地域の行事には参加したことはありません。

#### ●こども未来部長

お住いの自治会などは、活動が盛んな地区となっています。便りなどが入ってくるのではないかと思います。

●地域行事などの便りはありますが、参加しづらいです。参加したいとは思いますが、自分に自治会の役員が回ってきた際にできる環境にあるか考えますが、仕事もしているため難しいです。役員が務められないのなら、参加しない方が良いと思っています。

●地域の清掃には参加しています。初めて参加する際には、誰にも相談ができなくて、ハードルが高かったです。参加してみると、男性が多く、高齢者の方、中学生の参加が多くつながりがある良い地域だと思うのですが、幼児を連れた人の参加は少なく、子どもを連れて長時間は参加できないので、貢献できているかは分かりませんが、顔を知れる良い機会なので参加をさせていた

だいています。ただ、解散場所などを言われても分からなく、どこなのか聞きづらかったという状況です。清掃以外の運動会、お祭りなどには参加できていないです。児童館のイベントは小学生以上の対象がとても多く、幼児が参加できるのは餅つきと、節分のみとなります。保育園に子どもを通わせている家庭は地域と関わりづらいと実感しています。

●上の子が園児だったころ、仕事も多く、地域行事には参加できなかったです。児童館の行事にも参加していませんでした。小学校に入学すると、登校班などあり、地域の方々が声掛けをしてくださり、地域行事に参加できるようになりました。自治会長が登校班に同行してくれるなど、地域の人に助けられているなど感じています。園児の頃からもっと地域の人と深く関りがあつたら過ごしやすかったと思うのですが、知る機会もなかったと感じています。

●小学生の子どものPTAを務める機会があり、他の保護者、地域の交流が多く、給食の交流会、放課後子ども教室など、子どもと親、両方とも楽しめる行事がたくさんありました。自治会には参加していますが、共働きということや土・日曜日は習い事もあることから子ども会には参加していません。自治会の運動会、清掃、お祭りには、参加できるときは参加しており、地域と交流ができています。地域の方に親子で覚えていただけており、子どもがどこで遊んでいたなど教えてくれます。子どもの様子も働きながら分かる、と実感しています。

●子ども会、自治会にも参加はしていません。どうやって地域に入っていけば良いのか分かってなくなっています。今回の対話のために、事前に勉強をしました。子ども会の活動はポスターなどで知って参加することもありますし、地域の人に聞けば良いとも思うのですが、インターネットのサイトの紹介で、地域のどこに入れば良いのか、連絡先などが掲載されていれば、入りやすいのではないのでしょうか。

●こども未来部長

子ども会の連絡先などの情報は、個人宅の電話になることもありますので、掲載できないことがあります。市の担当課としては青少年課があります。そういったところで確認していただくこともできます。

●小学校で校外委員長を務めています。違うところから厚木市に引っ越してきて、最初は親子で友達づくりをする感覚で児童館などを利用し、様々な行事に参加しました。子どもが大きくなると、子どもからの誘いで参加するようになりました。住んでいる地区は高齢者が多く、ボランティアをしてくれています。いろいろと良い環境にあります。

●子ども会の存在を知ったのがここ最近です。きっかけは仕事で一緒に働いているお母さんから子ども会のことを教えてもらいました。話の内容を聞くと、子どもにとって良いと思いますが、既に子どもが大きくなってしまっているのも、これから入るのは良いのか、入る手段などが分からず、入らずにいる状態です。

●こども未来部長

御自身が子どもの頃は、子ども会は無かったですか。

●子ども会は無かったのですが、地域のお祭りなどはありました。

●来年4月から小学校の放課後児童クラブを利用したいと考えています。ただ、情報が正確ではありませんが1年生までは受け入れ可能で、2年生以降は制限があり難しいと聞いており、民間の学童にお願いしようかと考えているところです。自分が育った地元では、自治会も子ども会も当たり前でした。どうして知っていたのか、親も当たり前のように入っていました。ただ、久しぶりに実家に帰るとマンションやアパートが増えており、そういった方々が町内会に参加している

のかと親に聞くと、アパートの方々は参加していないそうです。今住んでいるマンション自体が自治会に入っていない状況で、入りたければ個別に入ってほしいと言われています。祭りなどの行事が盛んな地域ですが、関わっていないです。自治会に入れば子ども会にもつながりで入ると思うのですが、あまり情報がありません。掲示板に情報が貼り出されているイメージはありますが、あっても目に留まっていないのかなと思います。猿ヶ島スポーツセンター等のキッズルームが充実していて、子どもを連れて行ってもそこで遊ばせられるので助かります。

●こども未来部長

放課後児童クラブの話はどこから聞かれましたか。

●自分は妻から聞きました。妻は保育園のお母さん方から聞いたようです。

●こども未来部長

ロコミは大切ですが、最終的に正しい情報を所管しているのは担当課となります。教育委員会と協力し、小学校によっては受け入れる部屋を増やし、定員が増えているところもあります。この時期に保育所や幼稚園の入所、放課後児童クラブの受付も始まります。学校によって状況は違いますが、子どもたちの受け入れを多くしていこうと努力してくださっています。放課後児童クラブも待機児童ゼロを目指しています。担当課で問い合わせも受けており、説明会も開催しています。

●放課後児童クラブについて、市に問い合わせましたが、知りたい情報が得られませんでした。説明会をしていたことも知りませんでした。

●こども未来部長

市の取組は広報紙、ホームページなど様々な方法で情報発信をしています。いろいろなサービスや施策がありますが、人によって、何をどこまで知りたいのか、既に御存知なのかそれぞれの状況は分かりません。児童館や公民館などの掲示板も見ていただくなど、自分から情報を取得するよう意識していただきたいと思います。子育てガイドとして「おおきくなぁ〜れ」という冊子を配布していますし、ホームページのサイトもあり、担当課の連絡先が載っていますので是非御連絡ください。

●市長

児童館は近くにありますか。

●児童館よりも子育て支援センターもみじの手を利用させていただいています。児童館で近いところも分かっていません。平日は仕事をしており、土・日曜日しか動けません。平日の活動は参加できません。土・日曜日も習い事、家族で出かけることもあり、参加ができないことがあります。

●こども未来部長

子ども会や自治会活動が全てというわけではありません。児童館を探してください、とも言えないのですが、サービスはたくさんありますので、自分に合ったものを探し使っていただきたいと思います。

地域活動の参加は親が大変だと思うこともあるかと思いますが、親以外の価値観が違った方と関わることは、子どもの成長に影響を与える大事なことだと思います。また、災害時の助け合い、犯罪抑止としても、お子さんが一人で歩いていたところを、顔見知りの地域の人が声を掛けてくれたということや、不審な人に追いかけられたとき、近くの児童館を知っていたことから逃げこむことができたということもあります。子どもの身を守るためにも、役員が、ということではな

く、地域のことを知って参加していただきたいと思います。

●社会教育部長

小学校に上ると、PTA活動等で情報が入ってきますね。

●PTA活動をやる前に、横のつながりはありますか。

●ないです、全く。

●住んでいる地域の小学校はとても大きく、保育園、幼稚園ごとで固まってしまい横のつながりがありません。地域になかなか入っていけない状況にあります。遊ぶにしても保育園のお友達が多いです。

●こども未来部長

地域ということを考えると、就学前のお子さんが一番集まりやすいのは児童館だと思います。研修を受けた指導員もあり、土・日曜日も開いています。年1回でも良いと思うので、そういったところにも顔を出していただくと違うと思います。

●市長室長

私もPTAの役員を務めていたことがあります。役員会で、PTA活動がきっかけで親同士のつながりを持てれば良いのでは、と話していました。ただ、習い事をしている人も多く、サッカー、野球つながりで学校を超えたつながりもできます。一つの学校でも横のつながりを持つことが難しい、というよりも、様々な選択肢があり、保護者の方々も大変だと思います。結果的には、地域で住んでいるところは変わらないことで、地域では世代を超えたつながりが持てると思います。災害の際は地域の皆さんで協力をしてくださいとお願いをしているところです。今は情報が溢れる社会になってしまったので、自分に必要な情報を見つけることが難しいこともあるかと思っています。

●市長

保育園仲間、出発はそれでも良いと思います。今日、出会えた人たちでもつながりができると思います。自治会やPTAをやった方が良い、と伝えたい思いもあります。

東日本大震災の際、自衛隊や消防隊が一生懸命活動してくれましたが、一番に助けてくれたのは近所の方々です。知り合いであるかどうかに関わらず、助け合うことに違いはないと思いますが、地域の力が強くなると思います。普段からのつながりが大事ではないでしょうか。

本日の対話のように、自治会長とも対話を実施しています。地域の方々が気にかけていることは皆さんの子どもたちのことです。子どもたちをどうやって守るのか、話が多々出ています。目には見えないかもしれませんが、そういったつながりがあることを感じていただきたいです。

厚木市では協働の社会を目指し取り組んでいます。協働の漢字は、人が力を合わせ動くとあります。力を合わせ、社会をつなげていく。親同士でも、地域でも、必要性が問われているのではないのでしょうか。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

我々の周りには情報機器が溢れている時代となりました。まだ、お子さんに機器を持たせることもないかと思いますが、中学生になるとほとんどの家庭でスマートフォンを持たせるようになるようです。

日ごろから、どのようにお子さんと約束事をしているのか、また、コミュニケーションをとっているかということ、いくつぐらいでお子さんに機器を持たせようと考えてられるかお聴きしたいと思います。

●子どもは親の機器に興味津々です。まだ簡単なゲームやお絵かき、写真を見るだけです。小学校に上がったら、早く操作できるようになるのではと思います。持たせる際には、簡単な機能制限をしたものを渡すと思うのですが、正直図りかねている状況です。身近な例としては、家でのみ使わせるなどありますが、学校では機器は使えるのでしょうか。

●学校教育部長

学校に機器を持ってくることは必要ない、遠慮していただきたいという考えです。

●こっそりと持ってきてしまう子もいそうですが。共働きを理由にして、料理を作る時の間など、テレビを見ていてと言い聞かせてしまうことがあります。良し悪しがあると思いますが、使用する際には、メリハリをつけていきたいと思います。

●小学生でキッズ携帯を持たせています。メール機能と電話機能のみです。毎日使わず、習い事のお迎えに使うくらいです。漠然と、中学生くらいになったら持つのかなと思っています。

●社会教育部長

昔は、高校生になったらどうしようか、と考えていたところが、最近は中学生になって機器を持たせることを検討するようになっていきます。どんどん機器の所持が低年齢化しています。

●私も高校になって機器を持ちました。中学生で持たせるのか、と思うのですが、皆が持っているのに持たせなくて、ついていけなくなるのもどうかと考えてしまいます。

●市長

御自身が機器を持った時は、親に何と言いましたか。

●親は反対していました。自分でアルバイトをして、親を説得して購入しました。

●小学生の子どもがスマートフォンを欲しいと言ってきています。まだ買ってはいないのですが、周りの子は小学校4・5年生でスマートフォンを持っており、年々、所持年齢が低くなってきているといわれています。親と子どもを対象にした携帯電話教室を小学校で開催していました。無料通話アプリ内での仲間外れがあったという話もいろいろと聞きます。小学校中学年のときに友達同士で性行為とは何、という話題になり自分で調べたらしく、動画を視聴していた場面を目撃した先生から報告を受けた、という話があります。制限をかけていても情報が入ってくるので、怖い世代だだと思います。

●社会教育部長

子どもに見せたくない場面も簡単に視聴できてしまいます。キッズ携帯の方が制限がかけられると聞きますが。

●学校教育部長

キッズ携帯は機能も少なく、必要なものだけに絞られています。今までのコミュニティトークでも小学校の保護者はキッズ携帯を持たせている家庭が多かったです。

●小学校でスマートフォンを利用しています。

●学校教育部長

キッズ携帯は安心して持たせられるのですが、それもスマートフォンに切り替える時期にどう持たせるのが悩みになります。機械の利用ですので、公園で遊んでいるお子さんをずっと見守

り続ける、ということとは違う世界となります。子どもの方が機器の操作の理解が早く、親の知らない領域にどんどん入っていきます。

●子どもをロボット教室に通わせています。最終的にはプログラミングができるようにと思っています。親の見えるところでタブレットを使わせていて、動画を試聴していますが、サイトによってはあまり見てほしくないサイトに誘導されてしまうことがあります。たまに親が見てあげないといけないと感じています。機器を持たせるのは、だいたい10歳頃かと想像しています。NHKを見せていますが、番組でのお知らせを見て、ダウンロードしたいと言ってきます。かなり早い段階で興味を持ってしまうのではと思っています。

●社会教育部長

中学生保護者対象のコミュニティトークを開催した際、ルールを作るという話がありました。御家庭によって様々だと思います。

●中学校に入ると連絡網が携帯になると言われていましたが、買わずに入学しました。子どもが入った部活は親に連絡がくるため、必要がないと思い買いませんでした。子どもから欲しいとは言っていないので、今も持たせていません。何かあれば私の機器で子どもの友達とも連絡はとれます。動画の視聴はしているようです。自分でアルバイトをして、お金を払えるようになったら持たせるのかなと思っていますが、特に今は考えていません。

●学校教育部長

中学校に入って、部活の連絡網は紙で配られると思います。ただ、顧問の先生は、部長に電話連絡をするのですが、部長から先が無料通話アプリになっていることがあるらしいです。校長会で話をしましたが、機器を持っていない子がいることが前提であると考え、連絡網の見直しをしてほしいと話しました。本当に子どもに必要なことなのか、子どもの全面的な主張を受けるのではなく、これだったら必要かなというタイミングで持たせると良いと思います。部活で先輩や仲間と連絡を取りたいということで、自分の子どもに機器が欲しいと言われたことがあります。親の携帯電話の番号を友達に知らせました。連絡が来ると親が子どもに内容を伝える、という形で中学生時代は間に合いました。

●遊びの約束も私を通してします。本人もそんなに必要ないと考えているようです。

●学校教育部長

例えば、次の日の予定など、約束をどうして学校で決めてこないのか、と言うことがあります。

●何かあれば、家の電話から友達に連絡をしています。持たせるのはまだよいかなと考えています。

●こども未来部長

習い事の時も親の携帯を貸していて、内容を確認したところ問題がありそうだったので、親同士で話し合い解決したことがあった、という話がありました。

●小学校高学年で、既に機器を持っている子がいるようです。特に女子は、言葉の使い方の誤りで、けんかになってしまったり仲間外れになることが多く、性別によっても問題があるようです。

●今どきの連絡網は、家庭電話ではなく携帯電話が主流なのでしょうか。自宅に固定電話がないので、子どもが利用できる電話がありません。

●学校教育部長

固定電話に関わらず、緊急の時に連絡できる場所として聞いています。

●上の子が小学生で1人で外に遊びに行くときのみにキッズ携帯を持たせています。不審者も多

く心配で、1年生から持たせています。4年生でも機器を持っている子、2台持っている子がいる、という話を聞きますが、スマートフォンはまだ必要ないと感じています。成長過程でもめ事も起きることがあると思うので、良いこと悪いことが判断できるようになるまで、機器を持つ環境には置きたくないと考えています。保育園でもアンケートをしましたが、その時期になったら通信制限をかけるようにする、という意見が多かったです。うちはゲームもやらないので、必要に応じてこの先考えていければと思っています。

●社会教育部長

子どもは一人持っていれば、皆持っている、と言うことがありますね。

●家の電話がないので、小学生になったときの所在確認、連絡手段として持たせるかどうかこれから夫婦で考えようとしているところです。家でも、一人でいるときの時間潰しとしては持たせたくないと考えているので、子どもがゲームをやりたいといえ、親がついて見る、コミュニケーションツールとして使うのは有りだと思っています。テレビ、スマートフォンなどの全てが悪い訳ではなく、そこから得られる情報から世界が広がると思うので、どう関わるのか、親の思い、子育てへの考え方が問われていると感じています。今の時代に子どもがどれだけ触れていると将来どうなるのか未知数なので、良いのか悪いのか判断が難しいと思っています。スマートフォンで遊ぶのは良いとしても、それと同じくらい友達と外遊びをしたり、生の文化芸術に触れる、地域の人とふれあう時間も取りたいと思うので、この質問をされて、機器がどうかというよりも、自分がどう子育てをしたいのかと問われているようで、すごく難しい質問だと思いました。でも、小学生に上がったなら周りの友達に影響されると思っているので、家族で相談しながら付き合っていきたいと思います。

●小学校2年生の友達が遊びに来ると、9割以上が機器を持っている状況です。友達の親を知らなくても、そこでつながっているという安心感があります。機器が自分たちの主になっているので、前日の待ち合わせが曖昧です。自分が子どものときは、事前に約束をしていましたが、今の子どもたちは無料通話アプリで後から連絡する、という会話が常になされています。子どもに機器を持たせたら、子どももそうになってしまうと心配で、考えることから始めたいと思い、保留段階にあります。3歳の子は親の機器を使い、音声認識の言葉で検索し、サイトに飛んでしまいます。私の機器なので制限はしていないことから、いろいろと見ているようですが監視はするようにしています。

●社会教育部長

乳幼児の親子のメディア活用調査ですが、4年前の調査よりも、0～6歳児がいる家庭のスマートフォン所有率が30%上がりました。一方、携帯電話の所持率は下がりました。約2割の0～6歳の子どもは毎日スマートフォンに接しているというデータがあります。

●こども未来部長

機器やインターネットの怖さを勉強しなければと思い、青少年問題協議会というところで勉強会に参加しました。皆さんが想像する程度リスクはたくさんありますが、日本中で怖いことが起きている状況です。中古のスマートフォンが子どもだけでも、お正月のお年玉5,000円もあれば買ってしまう店があるということが分かりました。親に内緒で機器を買うことができちゃいます。今は、ゲーム機、音楽プレーヤーもネットにつながっており、小学生の大半がネットにつながったゲーム機で遊べる時代になっています。ネットで知り合い遊んでいた相手が実は大人で、悪意を持って相手をするということも簡単にできます。子どもたちに危険性を考えさせなければ



ならないという話もありますが、親もその危険度を分かった上で話ができているかというところまではできていないのではないのでは、という心配もあります。大変便利な道具だと思いますがそれに相反する危険もあります。事件と直結する可能性もあるのだと分かった上で、親子の話し合いが必要だという考えがあります。小中学校や様々なところで携帯電話の安全教室を実施していますが、小学校に入る前はなかなか参加できない状況ですので、上の年齢からだんだんやっていければと考えています。

●学校教育部長

全小中学校で携帯電話の安全教室を実施しています。小学校の高学年で実施していましたが、皆さんのお話を聴き、昨年から小学１・２年生、保護者を対象に拡大しています。学校で一番気にしていることは、社会性が育たない、社会性が身につくスピードが落ちるだろうということです。企業の新入社員が卓上の電話が取れないという状況があるようです。携帯電話はかかってきた相手先が分かりますが、小さい頃から家の電話機を取り、親に取り次ぐという経験がないため、新入社員に相当の研修をしなければならないようです。携帯電話・スマートフォンは便利ですが、リスクが高いことが唱和されます。身に付かず、抜けていくことがあると感じながら、対応しなければならないと思っています。

●こども未来部長

様々な問題があるようで、電話が鳴ったら、ペンとメモを用意しなければならない、ということが身についていないことがあるようです。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**

## 平成 29 年度 子育てコミュニティトーク(7)幼稚園

日時 11 月 22 日 (水) 午前 10 時から正午まで

場所 南毛利公民館集会室

### テーマ 1 「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働き世帯の増加や核家族化が進む中、地域でのふれあいやつながりも、昔に比べれば薄れつつあるのではないのでしょうか。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「こども育成条例」を策定しました。この条例は「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会、高齢者の方々、たくさんの方が様々な方法で子どもを見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、更に親の立場としても、地域と関わってきて良かったと感じたことがあると言われていました。

本日は、皆様が地域の方々とどのように関わっているのか、お聴きしたくこのテーマを設定しました。

聴きたいポイントは 2 つです。1 つ目は親子で地域行事などに参加されているかどうか、参加されている場合は、良かった点をお聴きしたいです。また、参加されていない場合はその理由をお聴きしたいと思います。

2 つ目として、どのような仕組みであれば、参加しやすくなると思いますか。

子どもたちは、家の中・幼稚園などの小さな社会から、より広い社会に出ていくこととなります。この時期に、自宅と幼稚園との行き来だけではなく、地域の行事などに参加することによって、様々な世代と関わり、社会に関心を持つことがその成長に有効であると言われています。是非、地域行事などに参加していただければと思い、このテーマを考えました。

●参加している方の御意見です。近年地域とのつながりが少なくなっている。地域活動の参加により、地域の方々と関わり、声掛けやあいさつの機会が増え、子どもの心の成長にもつながると思う。地域活動は家庭ではできない体験が多く、幅広い年齢の方と触れ合えるのでとても良いと思う。一方、地域活動を知る機会が少なく、参加できずにいる方々がいます。地域活動の情報がどこで発信されているか分からないので、産院や出生届けを出したときや、幼稚園・保育園で情報提供をしていただくのはどうかと思います。

また、児童館などは小学生が参加対象となるイベントが多いので、未就学児の兄弟がいる場合は参加できず、そこで躊躇されることもあるようです。園の保護者の意見を集約しました。

#### ●こども未来部長

児童館で未就学児が参加できるイベントが少ないという意見があったので、早速、児童館に配慮するよう意見を伝えました。

●参加はしていません。また、夫の転勤の可能性もあるので、自治会に入りづらいです。どうしても入らなければならないわけではないので入っていません。

●こども未来部長

防災訓練などにも参加はされていませんか。

●参加はしたかったのですが、日程が合いませんでした。

●私もそうですが、同じ幼稚園に通っている方、近所の人も、自治会の行事にはだいたい参加していると思います。住んでいる地区だけではなく、他地区のイベントにも行くので、顔を合わせることがあります。地区全体のイベントもありますし、丁目だけのイベント、季節の定番のイベントなど様々なものがあるので、回覧板でお知らせが回ってくると、楽しみにしている感じです。

●こども未来部長

隣近所で顔見知りになっていますか。

●名前までは分かりませんが、何かあると公民館などで集まるので、どの辺りに住んでいる人かは顔が分かりますし、道で会えばあいさつをするなどできます。

●こども未来部長

全く知らない人が歩いていると、違和感がありますかね。

●あります。

●生まれ育った所で子育てをしているので、地区の人とも顔見知りです。自治会活動にも積極的に参加している方だと思います。参加していて良かった点としては、子どもが人見知りだったのですが、誰とでも話せるようになりました。地区でもかわいがってもらえて、いろいろなことを教えてもらっている状況です。それがすごく良かったなと思っています。どうしようかと思っている点ですが、今の地区には新しい方が引っ越してきて、子育て世代が増えていますが、そういう方に自治会加入を気軽に誘って良いものか悩むところです。いろいろな考えの人がいるので。

●市長

声を掛けてもらって良いと思います。

●こども未来部長

引っ越して来られた方は、知らない人ばかりだと思いますので、声を掛けてもらえればうれしいと思います。そういうことを逆に自分が返していければ良いのではないのでしょうか。いきなり自治会に入れ、という話題でなくても良いと思いますが、不安でいられる方もいると思います。

●市長室長

知る機会がないという話がありました。自治会に入っている人で、同じ世代の方から声掛けがあると参加のハードルが低くなると思います。

●児童館、自治会などの祭りに参加するようにしている、という方が多かったです。子どもたちにはいろいろな経験をしてもらいたいということと、親子とも地域の人たちに顔を覚えてもらえる良い機会なので、参加されているようです。私は、自治会活動やPTAでイベントを手伝うことがあります。夜間の準備に子どもを連れていくことが大変だということがありました。事前準備の日程調整は大変ですが、年に一度なので、参加するようにしていきたいと思っています。

●こども未来部長

役員側になると意見を言いやすくなりますし、多くの人が参加しやすいようにしていただければと思います。

●自治会に入っているので、自治会行事は回覧板で分かりますが、土・日曜日ということや、子どもの友達がいないので参加しづらいということもあり、参加したことはありません。近所の友達がいると参加しやすいと思うのですが、親としても友達がいないと参加しづらいです。自治会

のごみ拾いには参加するようにしています。近所の方とのつながりも広がります。

●こども未来部長

ごみ拾いの際には、お子さんも連れていかれますか。

●家族で参加されている感じなので、連れていきます。

●児童館祭り、公民館まつりなどは、できるだけ子どもを連れて参加するようにしています。近所の方と知り合うことでメリットがあると感じています。仲良くなると子育てのアドバイスをくれる方がいたり、相談、体験談を聞かせていただけます。子どもが外にいるとき、どこにいるよと状況を教えてください。親から積極的にあいさつをするようにして、子どもの見本を見せるようにしています。地区で母の会の役員をしていたので、分からなかったことも理解できましたし、いろいろな人と知り合うことができました。自分の地区の行事には積極的に参加するようにしています。

●こども未来部長

家の外のどこにいたのか知らせてくれる、という話は過去のコミュニティトークでもありました。安心安全という面でも大事ですね。

●子ども会について、一番上の子が小学校に入学する際に誘いがあったのですが、何をしているのか分からないので断りました。地区の人から、運動会などもあり楽しいと話があり、入れば良かったかなと、タイミングを逃しました。回覧板が回るのが遅いため、行事に参加できていないことがあります。近所の方も年代が高い方が多く、小学生も少ないです。コミュニケーションをとるようにして、仲良くしていきたいと思うのですが、時間も合わないので話もできません。他の地区のイベントも良いと思うのですが、参加して良いものか分からず、参加できたら良いなと思います。

●市長

お住いの地区の自治会はしっかりされています。この前は運動会を開催されていました。参加されましたか。

●幼稚園の運動会と重なってしまい、参加できませんでした。

●こども未来部長

子ども会に限らず、青少年指導員、中学生を対象とした行事もあります。ナイトウォークやスキーなど、調べるといろいろな活動があります。公民館だよりなどで探すことも必要ですが、地域の方と友達になると教えてくれることもあると思います。皆さんに情報が早く届くと良いなと思います。

●上の子は昨年まで子ども会に入っていましたが、野球に専念するため退会しました。ソフトボールやドッジボールなどは参加できますが、野球の練習や試合があると地区行事や鮎まつりにも間に合いません。一切参加できなくなってしまいました。

●こども未来部長

サッカーや野球など没頭できることも大事だと思います。中学生、高校生になっても参加する機会はあります。

●下の子ももれなく参加できないので、せめて鮎まつりの花火の日だけは、一斉に17時に上がりましょうと、野球協会に伝えていただければと思います。

●市長

鮎まつり杯。協賛事業となっています。土曜日が花火です。

●強豪チームなので最終まで残ります。

●市長室長

決勝戦が日曜日に設定されてしまうので、前日ギリギリまでやっていただけるのでしょうか。

●こども未来部長

お子さんは野球に参加されたいのではないですか。

●どちらにも参加したいようです。子ども会自体も高学年の子はほとんどいない状況です。

●こども未来部長

子ども会は低学年が多く、高学年になると習い事、塾で辞めていき、友達がいなくなって、やめてしまおうかという気持ちになるようです。一つの方法が良いわけではないのですが、様々なところで経験をさせてあげられると良いと思います。学齢期になると社会の関り方が大事になります。本人が自発的にやりたいと言わなくても、親が促すことで興味を持つこともありますので、何かの機会に捉えていただければと思います。皆さんとしては、今後どうしたら参加しやすくなると思われますか。

●厚木市は子育てに優しく感謝しています。預かりなど様々なサービスが充実していて共働き世帯にはとっては働きやすい環境にあります。ただ、放課後児童クラブには入れない、子どもの長期休暇中はどこに預ければ良いのか。また、病児保育をしているところが少ないなど、問題がまだまだありますので、改善していただければ働く女性が子育てをしやすくなると思います。専業主婦の場合は、一人で悩みを抱えてしまうことや、孤立していると感じている方がいると思います。子育て支援センターもありますが、人付き合いが苦手、存在を知らない、支援を必要と感じていない人もいると思います。そういった人たちに確実にサポートの手が届けられる体制が整えられているのでしょうか。子育て支援の広報紙を全世帯に配布するなどすれば良いのではと思います。

●こども未来部長

放課後児童クラブは、待機児童ゼロにすることを目指しており、もうすぐゼロになります。予算をかけて、子どもを預かるためのプレハブを建てている学校もあります。各学校に協力をいただき、部屋を借りられるような状況です。また、小学6年生まで受け入れており、長期休暇中も夏休み限定で受け入れられるように制度を変えています。職場に近い所も入れるようになりました。放課後児童クラブについては、環境が進んでいると思います。病児保育も厚木市で作っていますが、海老名市や伊勢原市と連携ができないか調整を進めています。

専業主婦の方にもサポートをしています。子育てコンシェルジュや女性相談、子育て支援センターでも電話相談を受けています。また、保育士が地域の子育てサロンで話を聞くことや、4か月健診でお宅訪問もしています。これらのサービスは冊子等を作ってPRしていますが、確実なサポート、市が24時間体制でお母さん方を見守るということは難しいと思います。それこそ地域の力が必要ではないでしょうか。元気がないな、と気が付けば隣近所で声掛けをしていくことなど、地域の皆さんに御協力をお願いしたいと思います。

●市長

情報が行き届いていないということですが、興味がないと情報を得ようとしらない意識もあると思います。全戸配布の方法にも課題があるかもしれません。

●こども未来部長

子育て支援ガイド（冊子）「おおきくなぁ〜れ」は必要な方に届くように取り組んでいます。情

報がなく、知らないと言われることがあります。逆にこちらは何かを知っているのか、何を知らないのかは分かりません。必要な時に市役所に連絡をしていただければ、関係する部署につなげることができます。児童館や保育所などに相談いただければ、紹介ができます。御自身の子育て環境を良くすることも必要ですが、子どものことも大事ですので、周りの方に伝えていただければと思います。

●市長室長

市の広報紙は毎回届いていますか。自治会に加入されているかにもよるかと思いますが。保健特別号もありました。

●こども未来部長

子育て関連のサービスについては、子育て支援ガイド「おおきくなあ〜れ」の冊子でまとめています。配布するためには、A4サイズの紙くらいが限界かと思っています。

●広報課長

情報として必要なもの、興味のあるもの、ないものがあると思います。それらを判断して一枚にまとめることは難しいので、冊子とされているのだと思います。

●社会教育部長

こんなサービスがあるよ、と友達同士で話すことが早いのではないかと思います。

●幼稚園に入ってから親同士の交流がありますが、入る前は孤立しているなど感じているところがあります。ただ、夫には心配をかけないようにしています。保健師の訪問もありましたが本音を言わない、がんばらなきゃと思います。検診などは絶対に行くのですが、検診以外に集まる場を強制的に作ってもらえれば、皆でどこかで遊ばせるなどの企画があれば良いなと思います。

●こども未来部長

他の方には言えない、でもすっきりする場が必要ということで、来年度そのような事業を計画しています。核家族化も進み、親にも心配をかけないよう相談できないこともあるかと思っています。そんな事業を来年度やりたいと考えています。ただ、就学前のお子さんがある隣近所の方に、先輩ママたちが声を掛けてほしいな、とも思っています。

●市長

言い方は悪いかもしれませんが強制的に集めるということについて、皆さんどう思いますか。

●こども未来部長

地域の児童館を使って未就学児が集まる子育てサロンもやっています。0〜3歳児が集まることが多く、ちょっとした悩みも出ています。そういったところでストレス発散ができると思いますが、そういった場も知らないという状況かもしれません。

●市長室長

強制的な参加は、勇気がない方は出やすいかもしれません。

●出なければならないと思えば。

●こども未来部長

昨年度、母子健康包括支援センターを開設しました。健診の際に担当者が伺い、親子の相談のコーナーを作ればと話をしていました。

●市長室長

身近なところだと幼稚園、親同士でも悩みは言いにくいのでしょうか。

●参加しない方は参加しません。交流がないと言いますか。

●市長室長

幼稚園の中の役員として、そういう相談もあったのでしょうか。健診の時は大変でしょうか。

●こども未来部長

子どもが泣いてしまい、それどころではないことがあります。お子さんを預ける場所があれば、相談にも参加しやすいのではないのでしょうか。

●第二子になるとコミュニティがあるので良いのですが。第一子が大変です。

●こども未来部長

健診の際に、懇談会があると良いのかもしれません。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

我々の周りには情報機器が溢れている時代となりました。まだ、お子さんに機器を持たせることもないかと思いますが、中学生になるとほとんどの家庭でスマートフォンを持たせるようになるようです。

日ごろから、どのようにお子さんと約束事を決めているのか、また、コミュニケーションをとっているかということ、いくつぐらいでお子さんに機器を持たせようと考えていられるかお聞きしたいと思います。

●小学校でパソコンの授業が始まり、急激に興味を持ちました。タブレットがあるので、調べものをする際は声を掛けるように言っています。幼稚園児でも簡単に操作ができます。小学生でスマートフォンを持っていることもあるようですが、うちは中学校に入ってからと考えています。

●社会教育部長

我々は高校生になってから考えるという時代でした。今は小学生でキッズ携帯を持たせる家庭があるようです。スマートフォンよりも安全性が高いと言われています。

●小学生の上の子はまだ持たせていません。周りのお子さんはキッズ携帯を持っているようで、欲しいと言ってきます。公園で遊ばせている際も周りの子が持っていることがあります。今は行動範囲が分かるので、持たせません。不審者情報が多く入ってくるので、公園に行く際は防犯ブザーを持って行かせ、友達と行って、友達と帰ってくるように声掛けをしています。高学年になると一人で公園に行きたがるがあるので、一緒に付いていくのですが、公園で一人である他の子に話しかけるよう心掛けています。いじめなど、中学年の女子はいろいろあると言われており、先生の知らないところで陰険なこともあるそうです。学校で何があったのか聞かないと分からないので、会話をするように心がけています。

●市長

良いお母さんですね。

●家から学校が遠く、周りに民家もあまりないため持たせています。できれば持たせたくなかったです。コミュニケーションとしては、できるだけ食事は皆で食べるようにしています。また、顔をよく見るように心がけています。何かをしながら話し掛けることがあるかと思いますが、そういうことはできるだけやめて、手を止めて話を聞くように心がけています。怒ったり注意をした後には、必ずハグをする。感情的になって当たってしまったときは謝るようにしています。幼稚園に通っていたときは分からなかったのですが、小学校の登下校時が心配です。愛の目運動と

して地域の人たちが声掛け、見守りをしてくださっています。保護者にとってありがたく、安心していられます。子どもの顔も覚えてもらえて、散歩の時間も登下校中に合わせてくださったりもしています。保護者もまかせっきりでなくて、少しでも参加していくことが大事だと思っています。

●病院の待ち時間、電車の移動中などスマートフォンを見させることがあります。ぐずったときに見させるとおとなしくなります。どうしても渡してしまう場面があります。機器を渡すと、動画を見たがります。視聴する際は私も一緒にいるようにしています。時間を決めて、一時的に見せるようにしています。知人の子は中学生ですが、中学生になると無料通話アプリで通話をしたまま宿題をする子もいるそうです。お休みの日まで通話をしていたり、気軽に利用できる反面、家族との会話が減ることが残念です。無料通話アプリでいじめがあったりと、いつ子どもに機器を持たせようか悩みどころです。

●社会教育部長

便利な反面がありますよね。

●園の保護者の皆さんは、まだお子さんに持たせないということでした。動画視聴の際は確認する。履歴を確認する。小学校高学年くらいになって一人で行動するようになったら持たせる、などの意見もありました。私は、仕事復帰をした際に持たせました。子どもからは、中学生くらいになったらスマートフォンが欲しいと言われています。部活の連絡手段が無料通話アプリになるということで、考えています。スマートフォンの危険性、コミュニケーション不足、有害なところもあるので、今から少しずつ話していきたいと思っています。学校の授業で危険性など、具体的な話をしていただけたので、教育の一環として話をしていただければ良いなと思います。

●学校教育部長

中学校の部活の連絡について、学校は機器を持っていない子を前提にして、部活ごとに連絡網を作っています。ただ、顧問の先生は部長に電話連絡をしますが、そこから無料通話アプリを使うという状況があるようです。校長先生が集まる会議で注意をするように話をさせていただいています。

お子さんに機器を持たせる際は約束をするように、意識をしているかと思います。子どもの方が操作の覚えが早いです。学校でも携帯電話の安全教室を実施していますが、対象の学年を下げようと呼びかけています。ただ、低学年に話しても実感がないだろうということで、保護者対象の教室も実施していこうとしています。引き続き、学校に働きかけていこうと考えています。

●機器に触れさせることもなく、基本見せてもいません。スマートフォンは道具ということや、楽しいことは他にもある、ということを分かってもらいたいと思っています。子どもの前でスマートフォンを操作する際は、何をするのか、何に使うのかを言って使うようにしています。今はそれくらいしか考えていません。防犯の取組としては、犬の散歩を小学校の下校に合わせて行っています。犬に付ける黄色いセーフティバンダナをいただいたので付けています。今、子どもは自分から離れることはないのですが、小学校に上がったとき、続けていて良かったと思うことがあると思うので、やっています。

●住んでいる地区では小学生で機器を持っている率がかなり低く、高学年で習い事の時だけ親の機器を使わせるぐらいのようです。中学生になると部活の連絡で無料通話アプリができないと困るよ、と言われ、その話を聞いた皆で中学生くらいになるとスマートフォンが必要な、と話していました。大きなお子さんがいられる方は、ただ渡しっぱなしにすることは問題なので、制



限をかけた状態で渡すそうです。後は時間を決める。子どもと一緒にルールを決めて、守らせることが良いという話もありました。幼稚園ではそういった情報が知らされていなかったのですが、小学校に入学した際に、不審者情報のメーリングリスト登録のお知らせがありました。地区内で死角も多いので、そういう情報は幼稚園でも共有してほしいなと思いました。市からは出しているのでしょうか。

●市長室長

メーリングリストに登録いただき、情報を流しています。明らかな事件などがあると、幼稚園・保育園にもこども未来部から情報を発信します。必ずしも、全てを流しているわけではないのですが、幼稚園でもメーリングリストの情報を投げかけてもらえるようにすると良いですね。地区市民センターからも関係するところには連絡をしています。各施設に機会を捉えて登録するよう話をさせていただきます。

●市長

犯罪の内容によって、警察に情報発信を止められることもあります。情報を発信することによってマイナスになってしまうこともあるそうです。

●端末にロックをかけているので、見たいときは私に声を掛けないと使えないようにしています。さらにキッズロックもかけており、時間になると強制的に画面が切れるようにしています。動画の視聴などをしています。塾などで帰りが遅くなった場合、持たせるか考えようと思っています。

●社会教育部長

画面が切れる機能は、タブレット内の機能ですか。

●アプリでそういったものであります。

●社会教育部長

うちはキッチンタイマーでやっています。

●そうすると時間をプラスされることがあるので。

●園の保護者の意見としては、園児なので使わせたくはないのですが、もし使わせる場合は、保護者同伴で使用するとのこと。私は実際、インターネットのトラブル事例を話し、対処できるか厳しめに話をし、正しく怖がらせます。有害サイトへの接触を防ぐためフィルタリングをする。日常的に親子の会話を大切にして、パソコンやスマートフォン以外のものに目を向けられるようにする。一生懸命になれる何かを見つけるということで、小学校入ってからサッカーに夢中になっているので、今はほぼ触りません。便利で楽しく、大人にも子どもにも魅力的なネットやスマートフォンを生活から排除させることは難しいと思うので、子どもも正しい知識を身に付けて、決めたルールを守って正しく使わせる、としています。

●市長

答えを出していただいたような気がします。

●学校教育部長

家庭の中でのルール作りがされていることが、ありがたいと感心していました。以前のコミュニティトークでありましたが、中学校に入学した辺りが、機器の替え時、はじめて機器を持つことになることが多いようです。部活の連絡は無料通話アプリと話がありましたが、親の携帯電話の番号を部活の仲間に伝えて三年間を不自由がなかったという話もあります。メールが来ると母親が内容を確認して子どもに伝える。変な情報が入ってきても、親が確認できます。一つの方法としては有効かなと思います。皆さん機器を持たせる際は、制限ができるように工夫されている

ようですが、コミュニケーションをとり、親が買い与えたものなので内容を確認することを拒否しないようにするなどもあります。子どもの方が操作を覚えるのが早いので、我々も勉強をしていかなければならないのですが、それだけではなく、子どもが興味・関心を示すような別の世界を提供することも親の責任かと思います。

●社会教育部長

持たせるに当たっては、約束をさせて、危険性を知らせて、と言う方が多かったです。コミュニケーションも大事なのかと思います。

●教育長

幼稚園で懇談会がこういった形であるのかは分かりませんが、小学校では懇談会があります。このテーマはやがてどの親子も立ち向かう問題なので、ここで話したことをテーマとして投げかけ、話し合うことが良いのではないかと思います。皆さんのお話を聴いていると、非常にしつかりされていると感じましたので、今回の話を持って帰っていただき、皆さんがリーダー役になってもらえるとありがたいなと思います。

●こども未来部長

今日は役員の方が多いようなので。

●市長室長

我々は子ども、学生の時代に携帯電話がなかった時代でした。皆様は持っていましたか。

●市長

皆さんはどういうきっかけで持たれましたか。

●PHSが流行って、友達とメールをすることに憧れていていました。中学を卒業すると、友達と離れてしまうので、高校入学の際に持ちました。

●社会教育部長

世代とタイミングがありますよね。

●市長室長

周りが持つと考えますよね。

●学校教育部長

一人でも持っている、皆持っていると言われます。

●こども未来部長

0～6歳の子どもの6～8割はスマートフォンに触れている時間があるという調査結果があります。子どもにとって、とても身近で抵抗感がありません。携帯電話よりもスマートフォンの所持率が高くなっています。排除は無理でしょうし、親が悪い訳ではありません。そういう時代なので、リスクはありますが便利ですね。

●電車でも、騒いじゃいけないと考えているお母さんが多く、機器を渡してしまうお母さんがいます。そう思わせる周りもいけないですし、昔は子育てに気を使わないでいられたと思うのですが。今はうるさくしてはいけないなど、周りの目もあります。

●こども未来部長

一世代前は漫画、絵本を読ませて静かにさせることがありました。電車のマタニティマークと同じように、子育てに理解がありますよ、というマークがつい最近始まりました。大人の役割なのでしょうけれども、心配しなくても良いよ、という一言が必要なのでしょうね。

●学校教育部長

文科省の研究資料ですが、ある年齢を越さないと、画面からくる刺激が脳の発達に良くないという話もあります。また、社会性が育たないという怖さがあると様々なところで言われています。

民間企業の新入社員の話ですが、電話対応ができないそうです。携帯電話はかかってきた相手先が分かりますが、小さい頃から家の電話機を取り、親に取り次ぐという経験がないため、新入社員に相当の研修をしなければならないようです。ある発達段階においてコミュニケーションがとれていないと、社会性が身に付かないという怖さがあります。トラブルを回避するという点と、社会性の面の問題があります。

●こども未来部長

青少年健全育成大会で、子どもたちのスマートフォンの問題についてテーマに取り上げました。国立久里浜病院はアルコール中毒、薬物中毒の専門でしたが、今はスマートフォン依存が多く、そういった方たちの脳は認知症と同じ症状だそうです。最低限、心は動くそうですが、感情の分野が働かなくなってしまうようです。小さい頃は些細なきっかけだったかもしれませんが、楽しい、と脳に残され、そればかりやってしまうと言われています。今、皆さんの家庭では問題はないと思いますが、危険を認識していかないといけないです。

●市長室

大変参考になる御意見でした。ありがとうございました。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**